

# 農工通信

No. 101

2021.08

The Graduates' Association of Tokyo University of Agriculture and Technology



一般社団法人東京農工大学同窓会

<https://tuat-dousoukai.org/>



# 農工通信 No.101

## Contents

会長就任挨拶	1
会長退任挨拶	2
理事長就任挨拶	3
理事長退任挨拶	4
一般社団法人東京農工大学同窓会第3回定時総会	5
同窓会役員等体制と支部長及び連絡員表	13
同窓会代議員一覧	14
叙勲受章にあたり	15
野上 寛五郎、横本 正樹	
退職にあたり	17
荻原 勲、北原 義典、鮫島 俊之、 宮浦 千里、米澤 宣行、萩原 洋一	
令和2年度同窓会学生援助事業報告	20
令和2年度卒業生・修了生	21
部会・支部・同好会・クラス会だより	28
掲示板（大学ニュース）、慶弔	32
東京農工大学基金へのご支援について	34
事務局だより	36

## 表紙の写真

### 「当たり前」の夏

岡 真里(自然院H19)

コンクリートの都会で育った私は夏の川で当たり前で遊ぶ子供たちがうらやましい。  
これは広島市佐伯区湯来町を流れる清流水内川(みのちがわ)。  
利き鮎選手権では準グランプリの常連で、地元の人たちにとって自慢の「美しい川」である。  
一方で、上流部では廃棄物の最終処分場の建設がついに始まった。  
夏になると地元の子供たちが川と親しむ、当たり前のこの景色が懐かしいものにならないことを願う。

## 会長就任の挨拶

同窓会長 五味 勝（電子S54）



会員の皆様におかれましては、益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。栗原前会長の後を引き継ぎ、このたび同窓会長に選任された昭和54年工学部電子工学科卒業の五味勝です。どうぞよろしく願いいたします。

私は本大学を卒業後、株式会社東陽テクニカへ入社しました。現在は相談役という立場ですが、昨年12月までの10年間代表取締役社長を務めておりました。社長就任時には当時の小畑秀文学長からご祝辞をいただき、大役に身の引き締まる思いでした。この場を借りて御礼申し上げます。

振り返りますとこの10年は私にとって激動の歳月でした。未曾有の被害を引き起こした東日本大震災はその一つです。震災はこの3月にひとつの節目である10年を迎えましたが、今も被災をされた多くの方が直面されている課題にお見舞い申し上げるとともに、復興にご尽力されている方々のご安全、ご活躍を心よりお祈り申し上げます。

私の社長業はこの震災と共にスタートしたといっても過言ではありません。就任の3か月後に東京の日本橋オフィスで地震にあいました。突然の大きな揺れに為す術なく身を屈め、時間の経過とともに明らかになる甚大な被害の現実はまさに恐怖でした。地震発生4か月後、地震と津波により大きな被害があった岩手県大槌町からの応援要請を受けて現地へ向かい、現地に施設がある東京大学海洋研究所（この施設も津波の被害にあい、大きな損傷を受けていました）と共同で当社の扱う海底地質調査機器を使用して「海底がれきマップ」を作成い

たしました。海洋調査をしている現場を陸から海に向かってみていると穏やかで普通の海でしたが、そこから内陸を見るとほとんどの家屋が破壊されている状況でした。

東日本大震災を目の当たりにし、被災者の方々に哀悼の意を表しつつ、明日は何がおこるかわからない、今を大切に使わなければいけないとの思いを強くしました。私たちはいつも自然と共に歩まねばなりません。今も世界各地で蔓延を続け、災害クラスの危機的状況にある新型コロナウイルスもまた然り、それぞれの分野で本領を生かす事が求められています。困難な時代ではありますが、本同窓会が何等かの形で乗り越えるきっかけになることに期待を寄せております。ぜひ、コロナウイルス終息時には世代を超えた同窓会へ積極的にご参加いただき、情報交換の場としてご活用いただければ幸いです。より良い会の発展を目指して私も微力ながら活動してまいります。

最後になりましたが皆様の引き続きのご支援ご協力をお願いし、就任の挨拶とさせていただきます。

## 会長退任の挨拶

栗原 績（農工S42）



会員の皆様、新型コロナウイルスの感染拡大が収まりませんが、お元気にお過ごしのことと存じます。

年号が平成から令和に変わった直後、6月の第1回定時総会において同窓会長を拝命し、早いもので2年が経過しました。

私は、同窓会の法人化を成し遂げて退任された能條武夫前会長の後任として選任されました。

法人化に伴い、支部長会からも6人の理事への推薦が実現しました。

この理事を経験した後、会長に就任した私は、それまで支部活動で得た経験を活かし、少しでも貢献できればと考えておりました。

しかし、令和2年に入って新型コロナウイルスが猛威を振るい始め、各種の会合等も、縮小・中止を余儀なくされてしまいました。

大学の卒業式・入学式が中止になった他、同窓会の総会も最小限の参加者による開催、副会長(部会長)会議は開催されましたが、支部長会は中止といった状況でした。

このような中、千葉一裕学長と連名で、会員の皆様に「新型コロナウイルス感染症に伴う東京農工大学基金へのお願い」をしたところ、多くの皆様のご理解ご協力を頂き、コロナ禍で苦勞している学生の皆様に対し、継続的な修学支援を実施し、学修環境を整備することが出来ました。

改めて、同窓会会員の皆様に感謝申し上げます。

会長就任後、副会長の皆様、千年篤理事長、桑原利彦・戸田浩人両副理事長はじめ理事の皆様、支部長会の皆様、池谷紀夫事務局長はじめ

事務局の皆様、そして会員の皆様のご支援・ご協力を頂き微力ではありますが、会長職を務めることが出来ました。

改めて、心から感謝申し上げます。

昨年来、新型コロナウイルスの影響で、全国各支部の総会も開催できない状況が続いております。

静岡支部でも昨年3月に予定した定期総会が、私の記憶では初めて中止となりました。

それ以来、先輩方からも早期開催の要望が寄せられ、杉山嘉英支部長はじめ支部役員の皆様が、コロナ禍での開催に向けて、同窓会本部池谷事務局長のご支援も頂きながら計画を進めてまいりました。

その結果、コロナウイルス感染症対策を十分実施し、会場への参加が難しい方や初めてで躊躇されている方などはZOOMによる参加も受け付け、6月開催となりました。

なお、内容は昼食あり懇親会なしで、恒例の会員による講演は、獣医学科卒業農学博士の天野弘副支部長による「ヒトと動物のコロナウイルスについて～65歳の分岐点」とタイムリーなものとなりました。

まだまだ、コロナウイルスの感染拡大が収まりませんが、ワクチン接種も進んできており、全国各地で支部総会が開催されるよう願っております。

今後は、先の定期総会で承認された五味勝新会長はじめ新体制のもと、一般社団法人東京農工大学同窓会がますます発展されますよう願っております。

在任期間中のご支援ご協力に改めて、お礼申しあげます。

## 理事長就任の挨拶

理事長 桑原 利彦（生機S57）



令和3年6月19日の総会から2年間の任期で理事長を仰せつかりました。どうぞよろしくお願ひ致します。同窓会の目的は、「会員相互の親睦を深め、併せて同窓並びに東京農工大学の発展を図ること」(定款第3条)とあります。私の使命は、千年前理事長を引き継いで、同窓会の諸活動をますます充実・活性化させることだと考えます。

まず、部会や支部会活動を基礎におきながら、卒業生と本学学生(同窓会準会員)および教職員とのコミュニケーションをさらに活性化させます。これについては、亀山広報・情報部長が中心となって作業を進めており、大学と連携して「同窓生百景」を設けます。この企画は、全国の48支部から提供して頂く寄稿や取材などを基にして、① 高校生に農工大で学んで仕事に就く魅力を伝える、② 在学生にOB/OGが活躍する姿を伝える、③ 企業や公的組織での職場の魅力を在学生に伝える、④ 同窓生同士のネットワーク形成、などの効果をねらいます。

「農工通信」を継続し、内容の充実に努めます。部会・支部のホームページ立ち上げに協力するとともに、同窓会ホームページにある「会員交流広場」、「ギャラリー」等の活用法及び充実について検討を重ねます。特に若い世代や女性が参画しやすい環境を整えていきます。

準会員である在学生へのサービスもますます充実させます。大学と協力しながら就活セミナー等の開催や同窓会推薦キャリア・アドバイザーを支援します。また、学会・コンテスト・コンクール等の発表・入賞祝い、学会誌・論文誌発表等援助、優秀卒論副賞等の援助、学園祭・課外活動の援助及び卒業・修了証書カバーの贈呈

などを引き続き行っていきます。また新卒業生の同期会開催経費(WEB開催可)も支援致します。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症による修学困難学生支援を目的として、同窓会会長と農工大学学長名で同窓会会員に寄附を呼び掛けたところ、840人以上の会員から3,750万円を超えるご寄附を頂戴しました。心より厚く御礼申し上げます。今後とも会員の皆様には末永いご支援をお願いさせて頂くとともに、同窓会運営に関する忌憚のない御意見・御提言をお待ちしております。



## 理事長退任の挨拶

千年 篤（農学S58）



令和元年6月に、滝山前理事長を引き継ぎ、法人化後の本同窓会2代目の理事長に就任しました。しかし、同年12月に中国・武漢市で報告された新型コロナウイルス感染症がわずか数か月で日本を含む全世界で拡大したため、就任当初に構想していたものとは大きく異なるかたちで同窓会活動を進めざるをえませんでした。定期総会は限定された出席者のもとで実施せざるをえず、また理事会、運営委員会等の各種会議は適宜にオンライン実施に切り替えられました。部会、支部会の総会におかれましては取りやめを余儀なくされたところもあったかと存じます。

就任時に掲げました、準会員である在学生への支援の強化と、本会員間のネットワークの拡充に向けての活動は、残念ながら、この異常といつてよい2年弱で停滞、むしろ後退したような感さえあります。また同窓会の発展には大学と同窓会の連携が不可欠とし、連携の強化を当初目指していましたが、これについても、大学の広報担当部署と協議し、今後、適宜に連携しながら、在学生、同窓生、高校生等を対象に、広く本学同窓生の社会での活躍ぶりを発信していくという方針を立てるにとどまりました。

以上、この2年間は、コロナ禍のなかでの同窓会の基本的な活動の維持ならびに大学との連携に道筋をつけるにとどまり、退任にあたり自身の至らなさを実感し、慙愧に堪えない思いがあります。

しかし一方で、会員の皆様の母校へのご厚情を感じる機会もあり、大きな励みとなり、嬉しく思うこともありました。1つは、昨年、大学と同窓会が連携し行った在学生を対象にした

修学支援等への寄附において、皆様から多大なるご支援を賜ったことです。もう1つは、『農工通信』が100号を迎え、記念号において多数の方々からご寄稿頂いたことです。ご関係者の皆様のご協力に対しまして、この場を借りて心より御礼申し上げます。

コロナ禍のなか、同窓会の運営を継続できたのは、会員皆様のご理解とご支援、会長や理事の方々のご献身、さらには池谷事務局長をはじめ日頃、同窓会活動を影で支えてくださっているスタッフのご尽力のおかげです。深く感謝申し上げます。

一刻も早く新型コロナウイルス感染症が収束し、本同窓会の活動が通常に戻り、活発化していくことを祈っております。

最後に、会員の皆様のご健勝をお祈りするとともに、皆様には、五味会長、桑原新理事長以下、新体制への一層のご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

# 一般社団法人東京農工大学同窓会 第3回定時総会

■日時：令和3年6月19日（土）13:00～14:30 ■場所：府中キャンパス  
 ■総会出席者：9名 決議書提出者129名 合計138名（総会構成員総数197名 定足数99名）



第3回定時総会は、6月19日（土）府中キャンパスで開催された。新型コロナウイルス感染症対策として、今回の定時総会は、下記の形式で開催した。

- ・議題を限定
- ・本学の近くにお住いの代議員9名で開催
- ・上記以外の代議員は、あらかじめ通知された決議事項について書面又は電磁的方法を以て表決する。
- ・秋に臨時の総会を開催し、定時総会の議題について質問・説明の機会を設ける。

定時総会の開催にあたって、桑原副理事長から、出席者が9名・決議書提出者が129名で定足数を超え定時総会が成立した旨の報告があった。栗原会長から、出席いただいた方々に対するお礼と、有意義な討論のお願いの挨拶があった。

引き続き、桑原副理事長から、定時総会の議長については、定款第18条に基づき栗原会長が務める旨の説明があった後、議事に入った。

## 議事

### 審議事項1：議事録署名人選出(案)の件

千年理事長から、議事録署名人選出(案)の説明があり、審議の結果、原案通り承認され定款第20条により、栗原会長と西澤代議員・深井代議員が議事録署名人になった。

### 審議事項2：定款変更(案)の件

千年理事長から、定款変更(案)について説明があり、審議の結果、定款の変更【別記1】が承認された。

### 審議事項3：会長・副会長・理事及び監事選任の件

千年理事長から、会長・副会長・理事及び監事選任(案)【別記2】について説明があり、審議の結果、承認された。

### 審議事項4：令和2年度 貸借対照表(案)及び令和2年度 正味財産増減計算書(案)の件

報告事項①：令和2年度 事業報告の件

報告事項②：令和2年度 監査報告の件

上記案件は関連するため、一括して審議及び報告がなされた。

千年理事長から、令和2年度 貸借対照表(案)【別記3】、正味財産増減計算書(案)【別記4】、令和2年度 事業報告【別記5】の説明があった。また、鈴木監事から令和2年度同窓会の監査について、適正に行われている旨の報告があった。

審議の結果、審議事項：4が承認され、報告事項①②が了承された。

### 審議事項5：会費の額の定めの変更(案)の件

千年理事長から、会費の額の定めの変更(案)－入会金及び会費に関する規則の変更(案)－について

説明があり、審議の結果、「入会金及び会費に関する規則」の変更【別記6】が承認された。

**審議事項6：名誉会長・名誉顧問の推挙の件**

千年理事長から、名誉会長・名誉顧問の推挙(案)について説明があり、審議の結果、下記の方の推挙が承認された。

名誉会長：能條 武夫（前会長）（織工S48）

名誉顧問：大野 弘幸（前学長）

報告③：令和3年度事業計画の件

千年理事長から、令和3年度事業計画【別記7】について説明があり、質疑の後、了承された。

報告④：令和3年度収支予算の件

千年理事長から、令和3年度収支予算【別記8】について説明があり、質疑の後、了承された。

**【別記1】定款の変更**

一般社団法人 東京農工大学同窓会 定款の第49条第1項に第三号を追加する。

（特定目的事業財産）

第49条 特定目的事業財産は、当法人の目的に適合する事業で、運用財産の対象外の特定目的事業の遂行に要する費用を支弁するための財産とし、次に掲げるものをもって構成する。

- 一 本定款作成時に特定目的事業財産の部に記載された財産
- 二 運用財産の余剰金で、特定目的事業財産に繰り入れることを理事会で議決された財産
- 三 用途指定の寄附金で、特定目的事業財産として繰り入れることを理事会で議決された財産
- .....

附則

（定款の変更）

5.（令和3年6月19日 一部変更 第49条第1項に第三号を追加）

**【別記2】会長・副会長・理事及び監事選任(案)**

会長(第5回総会終結の時まで)

五味 勝（電子S54）

副会長(第5回総会終結の時まで)

内藤 廣信（農学S41）	農学・生物生産学部会
安藤 俊幸（蚕糸S49）	蚕糸生物学部会
仲井まどか（植防S62）	植防・応用生物学部会
伊藤 猛（農化S56）	農芸化学・応用生命化学部会
近江 正陽（林産S60）	林産・生物資源工学部会
伊豆田 猛（環保S59）	環境科学部会
本山 芳裕（林学S48）	林学部会
大里 耕司（農工S52）	生産環境工学部会
小池 伸介（地生H13）	地域生態システム学部会
田谷 一善（獣医S46）	獣医学部会
大塚 克巳（製糸S45）	製糸・高分子・生命工学部会
千田 武（織工S46）	繊維・有機材料部会
高野 文夫（化工S51）	化学工学部会
前川 佳博（工化S48）	応用分子化学部会
澤田 孚夫（機械S40）	機械システム工学部会
竹村 淳（電子H3）	電気電子工学部会
水野 隆司（応物S46）	物理システム工学部会



王 大慶	(情報院H24)	情報工学部会
加藤 美治	(MOT H21)	MOT部会
二見 能資	(生シス博H17)	BASE部会
船田 良	(連農S63)	連合農学部会

## 理事(第5回総会終結の時まで)

安藤 俊幸	(蚕糸S49)	蚕糸生物学部会
本山 芳裕	(林学S48)	林学部会
千田 武	(織工S46)	繊維・有機材料部会
高野 文夫	(化工S51)	化学工学部会
加藤 美治	(MOT H21)	MOT部会
内藤 廣信	(農学S41)	農学・生物生産学部会
桑原 利彦	(生機S57)	小金井地区
戸田 浩人	(林学S59)	府中地区
野口 恵一	(材料H1)	小金井地区
三宅 信行	(環境S55)	広島県支部
杉山 嘉英	(林学S52)	静岡県支部
河野 誂	(獣医S45)	山形県支部
金本 伸郎	(農学S51)	埼玉県支部
栗原 知	(林学S47)	東京都支部
寺峰 孜	(養蚕S45)	高知県支部

## 監事(第5回総会終結の時まで)

加藤 誠	(農工S44)
鈴木 創三	(農学S47)
小林龍一郎	(電気S51)

## 【別記5】令和2年度 事業報告

## (1) 第2回定時総会の開催

令和2年6月20日(土)府中キャンパスにて第2回定時総会を開催した。(出席者10名・決議書提出者132名)議事内容は、審議事項1:議事録署名人選出の件。審議事項2:2019年度 貸借対照表(案)及び損益計算書(正味財産増減計算書)(案)の件。報告事項①:2019年度 事業報告の件。報告事項②:2019年度 監査報告の件。審議事項3:規則の改正(案)の件。審議事項4:選挙管理委員選任の件。報告事項③:令和2年度 事業計画の件。報告事項④:令和2年度 収支予算の件。その他

## (2) 令和2年度各種会議の開催

理事会を令和2年5月と7月に理事全員が書面又は電磁的記録により決議書を送付する形式で開催し、11月及び令和4年3月にWEB会議システムを利用する形式で開催した。令和2年11月に副会長懇談会・部会長会をWEB会議システムを利用する形式で開催した。支部長会議と臨時総会はコロナ禍の影響で開催できなかった。

## (3) 同窓会組織の強化及び活性化

- 1) 一般社団法人にふさわしい形で、安定した運営が行えるようにした。
- 2) 部会・支部・職域組織の同窓意識の向上と会員交流の促進を図る方策として「農工通信99号」を8月1日に発行し、「農工通信100号」を1月1日に発行した。
- 3) 運営委員・監事・事務局長の部会・支部への派遣は、コロナ禍の影響で行えなかった。
- 4) 部会・支部活動の活性化のための支援の方策を引き続き検討した。
- 5) 卒業生に対して、大学が発行する証明書の発行手数料を援助した。
- 6) 同好会活動の充実に努めた。
- 7) 部会・支部のホームページ立ち上げに協力するとともに、同窓会ホームページにある「会員交流広場」、「ギャラリー」等の活用法及び充実について検討を重ねた。次年度に新たにこうほう支援室を立ち上げ、大学と連携・協力しながら、各地域や職場で活躍している同窓生の情報を発信することとした。

8) 入会金・賛助会費等の会費の更なる納付率向上のための方策を検討し実施した。

9) 歳出削減に努めた。

**(4) 同窓会の課題及び今後の対応**

1) 学内外問わず、同窓会活動をご理解いただくため、同窓会紹介パンフレット(入学時及びペアレンツデーにて配布)及び同窓会ホームページによるPR活動に努めた。

2) 分収林返還後の旧分収林の利用についてはコロナ禍と林道の崩壊の影響で進捗はなかった。

3) 海外支部設置について、検討を引き続き行った。

4) 農工通信の未着信な会員について追跡の動静調査を行った。

5) 祝電・弔電により祝意・弔意を表した。また、本会の発展に顕著な功績があった者に感謝状を贈呈した。

**(5) 準会員に対する援助、新入一般会員歓迎行事の継続実施**

大学と協力しながら就活セミナー等の開催や同窓会推薦キャリア・アドバイザー支援の援助等を行うことで、同窓生となる準会員(学生)に対して、就職支援等の充実を図った。

準会員の勉学・学生生活に関して、学会・コンテスト・コンクール等の発表・入賞祝い、学会誌・論文誌発表等援助、優秀卒論副賞等の援助、学園祭・課外活動の援助及び卒業・修了証書カバーの贈呈を行った。

**(6) その他**

1) 改組に伴う部会の組織編成のあり方についてさらに検討を行った。

2) 校歌・寮歌のホームページ上での紹介方法等について検討を行った。

3) 新型コロナウイルス感染症による修学困難学生支援を目的として、同窓会から「農工大学基金」に500万円を寄附した。また、同窓会会長と農工大学学長名で同窓会会員に寄附の呼びかけをしたところ、840人以上の方から3,750万円を超えるご寄附があった。

4) 第2回代議員選挙を実施し、11月16日すべての候補者の当選が確定した。

**【別記6】一般社団法人東京農工大学同窓会 入会金及び会費に関する規則(変更案)**

(趣旨)

第1条 この規則は、一般社団法人東京農工大学同窓会定款(以下「定款」という。)第12条の規定に基づき、一般社団法人東京農工大学同窓会(以下「当法人」という。)の入会金及び会費に関して必要な事項について定める。

(入会金及び会費)

第2条 当法人の入会金及び会費は別表のとおりとする。

(規則の改廃)

第3条 この規則の改廃は、総会の承認を得たうえで行うものとする。

(事務)

第4条 入会金及び会費に関する事務は、当法人事務局において処理する。

附則

この規則は、平成30年10月1日より施行する。

(令和3年6月19日 一部変更 70歳以上会員の終身会費納入方法の変更及び年会費納入時期の変更)

別表

	入会金	会費		賛助会費
		終身会費	年会費	
正会員	5,000円※1※2	30,000円※3	1,500円	
正会員(留学生及び新たに70歳以上の会員が納入する場合)		10,000円※3	1,500円	
準会員(留学生含む)	5,000円※1※2			
賛助会員				30,000円※4
賛助会員(留学生)				10,000円※4

※1 入会金は準会員になった時に納付することを原則とする。ただし、準会員の時に未納の場合は、卒業又は修了する時に納付しなければならない。

※2 納付した入会金は、これを返付しない。

※3 会費は終身会費として3万円(留学生及び新たに70歳以上の会員が終身会費を納入する場合は1万円)を納付することを原則とするが、年会費として1,500円を当該年度の始めに毎年納付することもできる。

※4 賛助会費は賛助会員の子女が準会員から正会員になったとき、これをその終身会費に変えるものとする。ただし、準会員が中途退学した場合は、納付した者の申出により既に納付した賛助会費を返付することができる。

## 【別記7】令和3年度 事業計画

### (1) 第3回定時総会の開催

令和3年6月19日(土)府中キャンパスにて第3回定時総会を開催する。

議事内容は、審議事項1：令和2年度 貸借対照表(案)及び損益計算書(正味財産増減計算書)(案)の件。報告事項①：令和2年度 事業報告の件。報告事項②：令和2年度 監査報告の件。審議事項2：規則の改正(案)の件。報告事項③：理事会承認の規則の件。審議事項3：今後の予算の在り方の件。審議事項4：会長・理事・監事選任の件。報告事項④：令和3年度 事業計画の件。報告事項⑤：令和3年度 収支予算の件。報告事項⑥：特別会員の推薦報告の件。その他

### (2) 令和3年度各種会議の開催

令和3年5月、6月、11月及び令和4年3月に理事会を、令和3年11月に副会長懇談会・部会長会を開催する。令和3年6月に臨時支部長会を開催する。

### (3) 同窓会組織の強化及び活性化

- 1) 一般社団法人にふさわしい形で、安定した運営が行えるようにする。
- 2) 部会・支部・職域組織の同窓意識の向上と会員交流の促進を図る方策として「農工通信」の年2回発行を継続し、学外編集委員と共に内容の充実に努める。
- 3) 運営委員・監事・事務局長の部会・支部への派遣は新型コロナの感染状況を見ながら可能であれば行い、今まで派遣していない支部にも派遣できるようにする。大学役員の派遣依頼にも応えられるよう大学との連携を図る。
- 4) 部会・支部活動の活性化のための支援の方策を検討する。
- 5) 卒業生に対して、大学が発行する証明書の発行手数料を援助する。
- 6) 同好会活動の充実に努める。
- 7) 部会・支部のホームページ立ち上げに協力するとともに、同窓会ホームページにある「会員交流広場」、「ギャラリー」等の活用法及び充実にについて検討を重ねる。
- 8) 本年度内に開催される、新卒業生の同期会開催経費(WEB開催可)の支援を行い、若い世代との情報網を構築する。
- 9) 入会金・賛助会費等の会費の更なる納付率向上のための方策を検討し実施する。
- 10) 歳出削減に努める。

### (4) 同窓会の課題及び今後の対応

- 1) 学内外問わず、同窓会活動をご理解いただくため、同窓会紹介パンフレット(入学時及びペアレンツデーにて配布)及び同窓会ホームページによるPR活動に努める。
- 2) 分収林返還後の旧分収林の利用方法について、八王子市役所と協議を継続する。
- 3) 海外支部設置について、検討を引き続き行う。
- 4) 農工通信の未着信な会員について追跡の動静調査を行う。
- 5) 祝電・弔電により祝意・弔意を表す。また、本会の発展に顕著な功績があった者に感謝状を贈呈する。

### (5) 準会員に対する援助、新入一般会員歓迎行事の継続実施

大学と協力しながら就活セミナー等の開催や同窓会推薦キャリア・アドバイザー支援の援助等を行うことで、同窓生となる準会員(学生)に対して、就職支援等の充実に努める。

準会員の勉学・学生生活に関して、学会・コンテスト・コンクール等の発表・入賞祝い、学会誌・論文誌発表等援助、優秀卒論副賞等の援助、学園祭・課外活動の援助及び卒業・修了証書カバーの贈呈を行う。

### (6) その他

- 1) 改組に伴う部会の組織編成のあり方についてさらに検討を行う。
- 2) 校歌・寮歌のホームページ上での紹介方法等について検討を行う。
- 3) こうほう支援室を立ち上げ、大学と連携・協力しながら、同窓生各地域や職場で活躍している情報を在学学生、高校生、会員等、学内外に広報する活動を開始する。

**【別記3】貸借対照表(案)** 令和3年3月31日現在

一般社団法人 東京農工大学同窓会  
一般会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	44,090,516	44,780,428	-689,912
現金	11,817	108,502	-96,685
当座預金	31,490,806	27,074,165	4,416,641
普通預金	12,587,893	17,597,761	-5,009,868
定期預金	0	0	0
流動資産合計	44,090,516	44,780,428	-689,912
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	45,000,000	45,000,000	0
普通預金	226,500	226,500	0
投資有価証券	284,773,500	284,773,500	0
基本財産合計	330,000,000	330,000,000	0
(2) 特定資産			
事業維持積立資産	134,000,000	0	134,000,000
退職給付費用引当資産	1,464,310	1,250,000	214,310
特定資産合計	135,464,310	1,250,000	134,214,310
(3) その他固定資産			
什器備品	0	0	0
投資有価証券	0	0	0
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	465,464,310	331,250,000	134,214,310
資産合計	509,554,826	376,030,428	133,524,398
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	0	0	0
前受金	0	0	0
預り金	73,877	53,285	20,592
仮受金	0	0	0
流動負債合計	73,877	53,285	20,592
2. 固定負債			
退職給付引当金	1,464,310	1,250,000	214,310
固定負債合計	1,464,310	1,250,000	214,310
負債合計	1,538,187	1,303,285	234,902
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
受取寄附金	134,000,000	0	
指定正味財産合計	134,000,000	0	134,000,000
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	134,000,000	0	134,000,000
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	374,016,639	374,727,143	-710,504
(うち基本財産への充当額)	330,000,000	330,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	508,016,639	374,727,143	133,289,496
負債及び正味財産合計	509,554,826	376,030,428	133,524,398



【別記4】正味財産増減計算書(案) 令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

一般社団法人 東京農工大学同窓会  
一般会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	945,002	943,703	1,299
基本財産受取利息	945,002	943,703	1,299
基本財産売却益	0	0	0
運用財産収入	31,902,204	34,375,105	-2,472,901
入会金	3,890,000	4,055,000	-165,000
年会費	1,071,000	1,044,000	27,000
終身会費	3,325,000	2,610,000	715,000
賛助会費	23,280,000	24,160,000	-880,000
利息	238	283	-45
寄附金	45,966	159,822	-113,856
雑収入	290,000	2,346,000	-2,056,000
経常収益計	32,847,206	35,318,808	-2,472,901
(2) 経常費用			
運用財産支出	15,326,359	33,738,459	-18,412,100
事業費	5,662,885	18,090,039	-12,427,154
動静調査費	667,498	555,614	111,884
会報発行費	0	10,038,420	-10,038,420
HP管理作成費	109,560	478,700	-369,140
部会・支部活動費	3,521,000	5,613,400	-2,092,400
母校援助費	0	0	0
卒業生援助費	1,119,527	1,098,430	21,097
同窓会の森管理費	0	33,140	-33,140
資料整備費	245,300	272,335	-27,035
減価償却費	0	0	0
会議費	186,090	4,076,133	-3,890,043
総会会議費	27,054	3,673,648	-3,646,594
理事会会議費	109,310	237,458	-128,148
副会長懇談会(部会長会)会議費	37,250	138,184	-100,934
支部長会会議費	0	0	0
運営委員会会議費	12,476	26,843	-14,367
管理費	9,477,384	11,572,287	-2,094,903
人件費	5,372,828	5,437,262	-64,434
社会保険料等	437,709	368,820	68,889
備品費	0	0	0
消耗品費	45,743	306,599	-260,856
複写機トータルサービス料	193,652	387,273	-193,621
通信費	194,151	216,295	-22,144
旅費	30,070	1,359,700	-1,329,630
事務用品印刷費	0	68,850	-68,850
慶弔費	3,096	42,944	-39,848
光熱水費	110,127	114,509	-4,382
職員厚生費	20,000	20,000	0
退職給付費用	250,000	1,250,000	-1,000,000
租税公課	341,778	358,189	-16,411
振込手数料	214,561	179,562	34,999
その他雑費	2,263,669	1,462,284	801,385
特定目的事業支出	18,231,351	3,938,695	14,292,656
周年記念事業費	0	0	0
学生援助事業費	2,552,840	3,938,695	-1,385,855
被災会員支援事業費	0	0	0
図書等刊行事業費	0	0	0
その他本財産に適合する事業費	15,678,511	0	15,678,511
経常費用計	33,557,710	37,677,154	-4,119,444
評価損益等調整前当期経常増減額	-710,504	-2,358,346	1,647,842
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	-710,504	-2,358,346	1,647,842
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-710,504	-2,358,346	1,647,842
一般正味財産期首残高	374,727,143	377,085,489	-2,358,346
一般正味財産期末残高	374,016,639	374,727,143	710,504
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
指定正味財産			
当期指定正味財産増減額	134,000,000	0	134,000,000
受取寄附金	134,000,000	0	134,000,000
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	134,000,000	0	134,000,000
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>508,016,639</b>	<b>374,727,143</b>	<b>133,289,496</b>

【別記8】令和3年度 収支予算

一般社団法人 東京農工大学同窓会

(単位:円)

No	区分	細分	項目	令和3年度予算額①	令和2年度予算額②	差異①-②	摘要	
1	基本財産	収入	基本財産(前年度繰越金 6)	330,000,000	330,000,000	0		
2			余剰金からの繰入れ	0	0	0		
3			上記以外の余剰金からの繰入	0	0	0		
4			収入合計(1+2+3)	330,000,000	330,000,000	0		
5		支出	他の財産へ繰出し	0	0	0		
6			支出合計(5)	0	0	0		
7				基本財産残高(4-6)→次年度繰越金	330,000,000	330,000,000	0	
8	運用財産	収入	前年度繰越金	22,630,670	3,482,845	19,147,825	前年度の剰余金(コロナ禍による支出減により増)	
9			入会金	3,500,000	3,500,000	0	前年度予算と同額	
10			年会費	800,000	1,000,000	-200,000	コロナ禍の影響を考慮して減額	
11			終身会費	2,000,000	3,000,000	-1,000,000	コロナ禍の影響を考慮して減額	
12			賛助会費	20,000,000	21,000,000	-1,000,000	コロナ禍の影響を考慮して減額	
13			利息	1,000	1,000	0	前年度予算と同額	
14			寄附金	0	0	0	前年度予算と同額	
15			雑収入	875,000	0	875,000	合同企業説明会収入	
16			基本財産運用益	900,000	900,000	0	前年度予算と同額	
17			収入合計(8~16の計)	50,706,670	32,883,845	17,822,825		
18			支出	動静調査費	600,000	600,000	0	前年度予算と同額
19				会報発行費	10,000,000	0	10,000,000	本年度は運用財産から支出
20				HP管理作成費	600,000	300,000	300,000	HP見直しのため前年度より300,000円増
21				部会・支部活動費	6,300,000	6,300,000	0	前年度予算と同額
22				母校援助費	0	0	0	本年度から特定目的事業財産から支出
23				卒業生援助費	1,780,000	1,780,000	0	前年度予算と同額
24				同窓会の森(旧分収林)管理費	300,000	300,000	0	分収林後片づけ及び記念碑作成経費
25		資料整備費		300,000	300,000	0	前年度予算と同額	
26		事業費計(18~25の計)		19,880,000	9,580,000	10,300,000		
27		総会会議費		4,000,000	4,000,000	0	前年度予算と同額	
28		理事会会議費		600,000	600,000	0	前年度予算と同額	
29		副会長懇談会(部会長会)会議費		200,000	200,000	0	前年度予算と同額	
30		支部長会会議費		0	1,600,000	-1,600,000	隔年開催	
31		運営委員会会議費		100,000	100,000	0	前年度予算と同額	
32		会議費計(27~31の計)		4,900,000	6,500,000	-1,600,000		
33		支出	人件費	7,800,000	5,600,000	2,200,000	対前年比増は昨年まで財団で負担していた人件費分の増(一部学生援助事業で支出)による。	
34			社会保険料等	860,000	360,000	500,000	対前年比増は昨年まで財団で負担していた社会保険料分の増による。	
35			備品費	200,000	200,000	0	前年度予算と同額	
36			消耗品費	500,000	500,000	0	前年度予算と同額	
37			複写機下取サービス料	1,000,000	620,000	380,000	財団が負担していた分を加算	
38			通信費	250,000	250,000	0	前年度予算と同額	
39			旅費	1,700,000	1,700,000	0	前年度予算と同額	
40	事務用品印刷費		68,850	50,000	18,850	財団が負担していた分を加算		
41	慶弔費		50,000	50,000	0	前年度予算と同額		
42	光熱水費		120,000	120,000	0	前年度予算と同額		
43	職員厚生費		30,000	30,000	0	前年度予算と同額		
44	退職給付費用		250,000	250,000	0	今後毎年250千円計上(令和2年度計上額と同額)		
45	租税公課		150,000	150,000	0	前年度予算と同額		
46	振込手数料		300,000	300,000	0	前年度予算と同額		
47	その他雑費		12,647,820	6,623,845	6,023,975	予備費を計上しないため調整用		
48	管理費計(33~47の計)		25,926,670	16,803,845	9,122,825			
49	予備費		0	0	0			
50	支出合計(26+32+48+49)		50,706,670	32,883,845	17,822,825			
51			運用財産残高(17-50)→次年度繰越金	0	0	0		
52	特定目的事業財産	収入	前年度繰越金	150,240,502	36,021,010	114,219,492	内訳: 使途指定134,000,000・その他16,240,502円	
53			余剰金からの繰入	0	0	0		
54			上記以外の余剰金からの繰入	0	0	0		
55			収入合計(52+53+54)	150,240,502	36,021,010	114,219,492		
56		支出	八王子分収林育成事業支出	0	0	0		
57			学生援助事業支出(使途指定寄附金)	7,000,000	5,500,000	1,500,000	当初140,000,000円の使途指定寄附があるものとして、7,000,000円ずつ20年間使用する予定であったが、134,000,000円だったため19年間で使用していく。	
58			被災会員支援事業支出	0	0	0		
59			図書等刊行事業支出	0	0	0		
60			その他本財産に適合する事業支出	2,000,000	16,000,000	-14,000,000	本年度は「こうほう支援室」経費(広報・就職支援経費)として2,000,000円計上。将来的には、雑収入(企業からの就職関係収入等)の増で賄う。前年度は会報発行費11,000,000円と大学への寄付金5,000,000円を支出	
61			支出合計(56~60の計)	9,000,000	21,500,000	-12,500,000		
62			特定目的事業財産残高(55-61)→次年度繰越金	141,240,502	14,521,010	126,719,492		
63			合計(7+51+62)	471,240,502	344,521,010	126,719,492		
64	特定資産	退職給付引当資産	1,750,000	1,500,000	250,000	令和2年度決算額1,500千円+令和3年度引当額250千円=1,750千円		
65								
66		特定資産合計(64~65)	1,750,000	1,500,000	250,000			
67			総合計(63+66)	472,990,502	346,021,010	126,969,492		

# 同窓会役員等体制と支部長及び連絡員表

## 同窓会役員等体制 (第3回定時総会終了時～第5回定時総会)

### 会 長

五味 勝 (電子S54)

### 副会長

内藤 廣信 (農学S41) 農学・生物生産学学部会  
 安藤 俊幸 (蚕糸S49) 蚕糸生物学部会  
 仲井まどか (植防S62) 植防・応用生物学部会  
 伊藤 猛 (農化S56) 農芸化学・応用生命化学部会  
 近江 正陽 (林産S60) 林産・生物資源工学部会  
 伊豆田 猛 (環保S59) 環境科学部会  
 本山 芳裕 (林学S48) 林学部会  
 大里 耕司 (農工S52) 生産環境工学部会  
 小池 伸介 (地生H13) 地域生態システム学部会  
 田谷 一善 (獣医S46) 獣医学部会  
 大塚 克巳 (製糸S45) 製糸・高分子・生命工学部会  
 千田 武 (織工S46) 繊維・有機材料部会  
 高野 文夫 (化工S51) 化学工学部会  
 前川 佳博 (工化S48) 応用分子化学部会  
 澤田 孚夫 (機械S40) 機械システム工学部会  
 竹村 淳 (電子H3) 電気電子工学部会  
 水野 隆司 (応物S46) 物理システム工学部会  
 王 大慶 (情報院H24) 情報工学部会  
 加藤 美治 (MOT H21) M O T 部会  
 二見 能資 (生シ博H17) B A S E 部会  
 船田 良 (連農S63) 連合農学部会

### 理 事

理事長 桑原 利彦 (生機S57)  
 副理事長 戸田 浩人 (林学S59)  
 副理事長 野口 恵一 (材料H1)  
 理 事 内藤 廣信 (農学S41)  
 〃 安藤 俊幸 (蚕糸S49)  
 〃 本山 芳裕 (林学S48)  
 〃 千田 武 (織工S46)  
 〃 高野 文夫 (化工S51)  
 〃 加藤 美治 (MOT H21)  
 〃 河野 詠 (獣医S45)  
 〃 金本 伸郎 (農学S51)  
 〃 栗原 知 (林学S47)  
 〃 杉山 嘉英 (林学S52)  
 〃 三宅 信行 (環保S55)  
 〃 寺峰 孜 (養蚕S45)

### 監 事

加藤 誠 (農工S44)  
 鈴木 創三 (農学S47)  
 小林龍一郎 (電気S51)

### 運営委員

総務部長 千年 篤 (農学S58)  
 副部長 田中 剛 (物生H7)  
 副部長 金田 正弘 (獣医H12)  
 事業部長 赤井 伸行 (環資H11)  
 副部長 岡本 昭子 (応化H15)  
 経理部長 齊藤美佳子 (工化H1)  
 副部長 水川 薫子 (環資H18)  
 広報・情報部長 村上 尚 (応化H12)  
 副部長 滝山 博志 (化工S62)  
 副部長 岡田 洋平 (応生H19)

## 同窓会支部長及び連絡員 (令和3年7月1日現在)

支部名	支部長名	連絡員名	支部名	支部長名	連絡員名
北海道	荒木 和秋 (農学S50)	本間 聡 (地生H20)	大阪	佐々木良和 (農工S39)	中野 淳 (機械S60)
青森	大橋 統秋 (農学S54)	白石 一志 (農学H4)	京都	西村 寿 (農工S50)	松井 崇 (農工S51)
秋田	野村 俊悦 (農学S44)	吉田 育男 (植防H4)	滋賀	川島 長治 (農学S39)	鈴木 一成 (地生H25)
岩手	深澤 光 (林学S56)	小澤 結 (環資H11)	奈良	山本 治幸 (電気S54)	岩治 新 (地生H20)
山形	河野 詠 (獣医S45)	川崎 聡明 (生産H9)	和歌山	毛呂 眞 (林学S41)	中村 純子 (環・資H6)
宮城	鈴木 正彦 (林学S57)	大類 清和 (林学H2)	兵庫	上坂 修一 (林産S54)	安德 剛志 (林学S59)
福島	荒井 賢治 (農工S47)	松本 文章 (環保H4)	岡山	渡邊 直人 (林学S50)	谷 智仁 (林学S61)
茨城	川野 和彦 (林学S50)	磯邊 晋吾 (林学S62)	広島	三宅 信行 (環保S55)	石田 一之 (機械S59)
栃木	南木 好樹 (農工S58)	篠崎 敦 (生産H18)	山口	松村 聡 (工化S46)	岡本 賢一 (植防H4)
群馬	山本 明 (農工S45)	影澤 圭太 (林産H3)	鳥取	江原 宏昭 (農学院S48)	門脇 互 (製糸S54)
埼玉	金本 伸郎 (農学S51)	竹詰 一 (農学H2)	島根	桑本 幸夫 (林産S56)	松浦 史瑞 (林産H1)
千葉	前之園孝光 (獣医S44)	津金 胤昭 (応生H6)	香川	鳥取 康治 (織高S51)	遠藤 克彰 (機シスH24)
東京	栗原 知 (林学S47)	稲田真樹子 (地生H17)	徳島	長谷川 進 (工化S47)	小杉純一郎 (林学S63)
神奈川	真子 正史 (農学S41)	黒澤 晃 (農学H2)	高知	寺峰 孜 (養蚕S45)	豊田 陽一 (蚕糸S57)
新潟	矢澤 正宏 (農工S44)	村山 康則 (農学H3)	愛媛	池上 正彦 (蚕糸S52)	尾中 直道 (環・資H7)
富山	林 繁利 (工化S39)	飯野 師 (地生H18)	福岡	野上寛五郎 (林学S39)	平島 亮介 (生産H13)
石川	森倉 正信 (養蚕S48)	濱崎 貴史 (環資H15)	佐賀	御厨 秀樹 (植防S56)	御厨 秀樹 (植防S56)
福井	野坂 雄二 (農工S53)	新海 隆介 (環・資H12)	長崎	内山 満 (林学S49)	古賀 淳士 (農学S52)
山梨	木村 靖郎 (林学S45)	小松澤 靖 (林学H2)	熊本	田中 良典 (植防S51)	永山 裕治 (環保H1)
長野	相馬 正博 (農学S53)	小坂橋晴之 (地生H19)	大分	松久 房義 (蚕糸S50)	川ノ上 実 (生産H12)
岐阜	工藤 正弘 (織工S44)	雨宮 功治 (植防S60)	宮崎	池田 典昭 (林学S49)	井之上英行 (農工H4)
静岡	杉山 嘉英 (林学S52)	土屋 雄人 (応生H20)	鹿児島	二俣 文生 (農工S45)	長谷川信幸 (製糸S54)
愛知	瀧上 紀吉 (機械S41)	水野銑一郎 (農学S42)	沖縄	糸数 剛 (農工S45)	花城 薫 (林産H3)
三重	古野 優 (獣医S60)	西野 実 (生産H7)	横浜会	草野 洋一 (養蚕S47)	向 恒雄 (製糸S46)

# 同窓会代議員一覧

## 同窓会代議員名簿 (任期：選任時～第4回定時總會終了時)

### (部会関係代議員)

推薦母体	代議員氏名 (卒業・修了年)	代議員氏名 (卒業・修了年)	代議員氏名 (卒業・修了年)	代議員氏名 (卒業・修了年)	代議員氏名 (卒業・修了年)	代議員氏名 (卒業・修了年)	代議員氏名 (卒業・修了年)
部会長会	五味 勝 (電子S54)						
農学・生物生産学部会	内藤 廣信 (農学S41)	板橋 久雄 (農学S39)	早川 潔 (農学S41)	南波 利昭 (農学S46)	横山 正 (農学S53)	大川泰一郎 (農学S62)	滝沢 将史 (生産H8)
蚕糸生物学部会	安藤 俊幸 (蚕糸S49)	菊池 雅美 (蚕糸S56)					
植防・応用生物学部会	仲井まどか (植防S62)	安藤 哲 (植防S47)	國見 裕久 (養蚕S48)	寺岡 徹 (植防S50)			
農芸化学・応用生命化学部会	伊藤 猛 (農化S56)	高品 知典 (農化S58)	田中 智章 (農化S60)	坂口 政吉 (農化H5)	神保 希望 (応生H24)	市川めぐみ (応生H24)	
林産・生物資源工学部会	近江 正陽 (林産S60)	佐藤 敬一 (林産S56)	安藤 善介 (林産H2)	吉田 誠 (環資H12)			
環境科学部会	伊豆田 猛 (環保S59)	多羅尾光徳 (環資H3)	渡邊 誠 (環資H11)	黒岩 恵 (環資H22)			
林学部会	本山 芳裕 (林学S48)	難波 伸幸 (林学S49)	塚原 道夫 (林学S51)				
生産環境工学部会	大里 耕司 (農工S52)	川田 明宏 (農工S51)	帖佐 直 (農工H4)				
地域生態システム学部会	小池 伸介 (地生H13)	山口 泰民 (地生H12)	八色 宏昌 (地生H12)	大倉 茂 (地生H19)	深井 敬哲 (地生H20)		
獣医学部会	田谷 一善 (獣医S46)	津曲 公夫 (獣医S43)	木島まゆみ (獣医S58)	川口真以子 (獣医H9)			
製糸・高分子・生命工学部会	大塚 克巳 (製糸S45)	安田 勝年 (製糸S42)	花輪 正明 (製糸S46)	中島 健一 (製糸S58)	近藤 幹也 (製糸S58)	熊澤志津子 (高工H4)	
繊維・有機材料部会	千田 武 (織工S46)	岩島 寛 (織工S33)	壁矢 久良 (織工S35)	原島 朝雄 (織工S49)	金子 由実 (織高S51)		
化学工学部会	高野 文夫 (化工S51)	板垣 和雄 (化工S48)	紫垣 由城 (化工S52)	加藤 之貴 (化工S60)			
応用分子化学部会	前川 佳博 (工化S48)	薮 秀磨 (工化S39)	伊王野耕二 (工化S39)	遠藤 幸一 (工化S46)	平野 正雄 (工化S48)	太田 克朗 (工化S50)	
機械システム工学部会	澤田 孚夫 (機械S40)	今成 昌文 (機シS57)	大谷 幸利 (機シS62)	武藤 篤生 (機シS41)	北村 光 (機械H2)	中村 秀一 (機シS42)	渡邊 力夫 (機シS45)
電気電子工学部会	竹村 淳 (電子H3)	飯村 靖文 (電子S56)	有馬 卓司 (電情H10)				
物理システム工学部会	水野 隆司 (応物S46)	大野 直次 (応物S47)	関根 朝次 (応物S47)	佐伯 尚文 (応物S49)	伊東 浩 (応物S52)		
情報工学部会	王 大慶 (情報院H24)	朱碧蘭 (情コミH15)	古宮嘉那子 (情コミH17)				
MOT部会	加藤 美治 (MOT H21)	野地 英昭 (MOT H20)					
BASE部会	二見 能資 (生シ博H17)	赤井 伸行 (生シ博H16)	岡村 拓弥 (生シ院H29)	市原環太郎 (生シ院H29)			
連合農学部会	船田 良 (連農S63)	野村 義宏 (連農H2)					

### (支部関係代議員)

推薦母体	代議員氏名 (卒業・修了年)	代議員氏名 (卒業・修了年)	推薦母体	代議員氏名 (卒業・修了年)	代議員氏名 (卒業・修了年)	推薦母体	代議員氏名 (卒業・修了年)	代議員氏名 (卒業・修了年)	推薦母体	代議員氏名 (卒業・修了年)	代議員氏名 (卒業・修了年)
北海道	荒木 和秋 (農学S50)	濱口 大志 (農工H2)	石川	森倉 正信 (養蚕S48)	大澤 豊昭 (農工S54)	山口	松村 聡 (工化S46)	馬場 崇史 (分子H27)			
秋 森	大橋 統州 (農学S54)	楠美 祥行 (電子S58)	福井	野坂 雄二 (農工S53)	小堀 健司 (農工S62)	鳥 取	江原 宏昭 (農学院S48)	門脇 互 (製糸S54)			
秋 田	野村 俊悦 (農学S44)	舩谷 雅広 (農工S61)	山 梨	木村 靖郎 (林学S45)	原 昌司 (蚕糸S60)	鳥 根	桑本 幸夫 (林産S56)	松浦 史瑞 (林産H1)			
岩 手	深澤 光 (林学S56)	藤原 哲雄 (農学S60)	長 野	相馬 正博 (農学S53)	飯島 好文 (農工S59)	香 川	鳥取 康治 (織高S51)	遠藤 克彰 (機シH24)			
山 形	河野 詠 (獣医S45)	大嶋 博之 (植防S60)	岐 阜	工藤 正弘 (織工S44)	雨宮 功治 (植防S60)	徳 島	長谷川 進 (工化S47)	小杉純一郎 (林学S63)			
宮 城	鈴木 正彦 (林学S57)	相澤 孝夫 (林学院S58)	静 岡	杉山 嘉英 (林学S52)	天野 弘 (獣医S53)	高 知	寺峰 孜 (養蚕S45)	豊田 陽一 (蚕糸S57)			
福 島	荒井 賢治 (農工S47)	渡部 正明 (環保S55)	愛 知	瀧上 紀吉 (機械S41)	瀧川 桂三 (林学S41)	愛 媛	池上 正彦 (蚕糸S52)	鋤先 孝一 (環保S52)			
茨 城	川野 和彦 (林学S50)	水庭 博 (林学S49)	三 重	古野 優 (獣医S60)	西野 実 (生産H7)	福 岡	野上寛五郎 (林学S39)	白石 哲広 (林産S50)			
栃 木	南木 好樹 (農工S58)	牧 佳輝 (獣医S41)	大 阪	佐々木良和 (農工S39)	森田 成昭 (機シH8)	佐 賀	御野 秀樹 (植防S56)	狩又 亮治 (生産H24)			
群 馬	山本 明 (農工S45)	藤井 昇 (蚕糸S51)	京 都	西村 寿 (農工S50)	松井 崇 (農工S51)	長 崎	内山 満 (林学S49)	古賀 淳士 (農学S52)			
埼 玉	金本 伸郎 (農学S51)	山永 高男 (植防S53)	滋 賀	川島 長治 (農学S39)	南井 隆 (林学H2)	熊 本	田中 良典 (植防S51)	堀 洋一 (織高S51)			
千 葉	伊藤 道男 (林学S48)	家壽多正樹 (農学S59)	奈 良	山本 治幸 (電気S54)	宮本 大輔 (農学H1)	大 分	松久 房義 (蚕糸S50)	永野 和範 (機工S63)			
東 京	栗原 知 (林学S47)	大井 行史 (林学S35)	和歌山	毛呂 眞 (林学S41)	中尾 俊二 (林学S53)	宮 崎	池田 典昭 (林学S49)	山下 博 (農工院S46)			
神奈川	真子 正史 (農学S41)	中村 寛也 (環保S61)	兵 庫	上坂 修一 (林産S54)	石田あずさ (農工H4)	鹿 児 島	二俣 文生 (農工S45)	平 繁人 (養蚕S45)			
新 潟	矢澤 正宏 (農工S44)	宮里 圭一 (農工S53)	岡 山	渡邊 直人 (林学S50)	谷 智仁 (林学S61)	沖 繩	糸数 剛 (農工S45)	花城 薫 (林産H3)			
富 山	林 繁利 (工化S39)	小杉 啓一 (林学S54)	広 島	三宅 信行 (環保S55)	石田 一之 (機械S59)	横 浜 会	草野 洋一 (養蚕S47)				

### (立候補代議員)

代議員氏名 (卒業・修了年)	代議員氏名 (卒業・修了年)
岩本 洋彦 (植防S42)	松井 英輔 (林学S38)
清水 洋一 (林産S53)	住本 敏泰 (電気S61)
相馬 包吉 (農工S42)	西浦 忠輝 (林産S45)
山田 貴久 (MOT H21)	



# 叙勲受章にあたり

## 令和2年秋の叙勲

### 受章の報告

野上 寛五郎（林学S39）



秋の生存者叙勲候補者として長年勤務した宮崎大学の推薦により、令和2年11月3日に瑞寶中綬章をいただくことになりました。当年は新型コロナウイルスの感染の影響で、勲章伝達式などはなく、大学を通じて12月22日に勲記、勲章を受け取りました。

農工大での研究室は川名明教授がおられた造林学に入れていただき、何回か先生の調査に同行させてもらい、森林は長期間の調査、土壌を含めた環境の役割を調べることなどが重要であると教えて下さり、卒論でも丁寧な指導をしていただきました。卒業後も同じ研究室の先生方には研究で困ったときなど度々相談し、何かとお世話になりました。

卒業後、九州大学大学院農学研究科に進学し、昭和41年3月同修士課程林業学専攻修了後、同博士課程に進学しましたが、途中で九州大学農学部助手に採用され、約5年間勤めました。昭和47年9月に宮崎大学農学部講師、翌年4月助教授、昭和58年3月に附属演習林教授に就任し、平成17年3月定年退職しました。この間、林学科などの学生には、主に森林の生態、保育、役割

などについての講義や実習をしました。

研究面では、当初、卒論と同様の林地肥培の研究を行い、森林では肥料の利用効率が劣る点に着目し、造林木の肥料成分の利用率について調べ、苗畑や森林での試験を通じ、肥料の利用率を上げるには施肥量を分施すること、適期に緩効性の肥料を与えること、植栽本数を多めにするなど論文にまとめ、昭和47年8月に学位を取得しました。またこの成果で昭和52年の林学賞をいただきました。その他の主な研究として、標識チッソ肥料を用い、雑草と造林木の肥料の吸収の競合、林木の根、幹、葉の部位ごとの窒素吸収量などを調べる実験もしました。また、苗畑、造林地での産業廃棄物施用の効果、混牧林における牛による下刈り、つる切りの効果、踏みつけ、押し倒し被害の程度など(牧場などと共同研究)、森林における酸性雨、渓流水の成分の長期の定点測定などを行いました。

管理、運営では演習林長を5年間、また2年間初代のフィールド科学教育研究センター長をつとめました。フィールドセンターでは種々の規約および関連の各種委員会の制定、4付帯施設の役割、施設間の共同研究、農学部全体を網羅した地域貢献のための公開講座、他学部も含めたフィールド体験講座の計画など新たな業務も実行しました。以上が学歴、職歴の概要です。

終わりに農工大の同窓会の関係各位には、長年にわたり何かとご指導、ご支援、ご厚情をいただき、深く感謝しております。今回の受章には、会長様より早々にご丁寧な祝電を賜り、重ねてお礼申し上げます。今後の同窓会のますますの発展と充実をお祈りいたします。

## 農に生きる

横本 正樹（農学S48）



令和2年秋の叙勲で、思いもかけず旭日単光章をいただきました。11月25日に広島県庁において、上仲農水局長より叙勲伝達が行われ、併せて叙勲理由が示されました。民間からの叙勲の場合、二つの基準があり、一つは民間の組織団体の長を10年以上勤めたこと、二つ目はその分野において特筆すべき業績を挙げたということだそうです。

私の場合、一つ目は合併前後の農協の組合長を合わせて12年勤めたので、基準を満たしていますが、二つ目の特筆すべき業績については、以下のように説明を受けました。

まず、西日本で初めてブルーベリーの栽培に成功し、産地の育成に努めるとともに、大崎上島町において、2度のブルーベリーの全国大会を開催して、ブルーベリーの普及に貢献したこと。これは、農協の組合長であることとは別に、一農家として取り組んだことでしたが、二つ目については、農協の組合長として取り組んだ業績でした。

広島県は、国産レモンの6割以上を生産する日本一のレモン産地なのですが、10年ほど前より知事を先頭にレモン増産運動を始めていました。しかし、県の強力な働きかけにも関わらず、農家の方は今一つ疑心暗鬼の状態でした。収穫がレモンの不需要期である冬場なので、増産した場合、これまでの安定した価格が維持できるのだろうかという心配があったからです。

需要期である夏場まで保存するため、それまでも特殊フィルムを使用するなどして、対応し

ていましたが、一個一個包装しなければならないため、とても大量保管には向きません。

大量保管をするためには、どうしても冷蔵庫が必須となります。そこで、各地の冷蔵会社に当たってみました。賃借料が高く、とても採算がとれません。万策尽きたと思っていた所、取引先の松本市場の常務が挨拶に来られました。長野県は青森県と並ぶりんごの産地ですが、青森県と異なり、11月までに収穫した果実は、一旦冷蔵庫で寒さを受けないよう保管するのですが、2月始めまでにはすべて出荷してしまい、7月の桃の収穫時期まで冷蔵庫は空いていると言うのです。

そこで、常務にJAあづみを紹介してもらい、組合長に冷蔵庫の空いている期間、レモンを入れさせてもらえないだろうかとお願いに参りました。JAあづみの組合長も、農家のためになることならと、快く受けいただきましたので、まず最初に、JAあづみの所有する最も小さい600t保管できる冷蔵庫を借りることになりました。ちなみに、JAあづみは、合わせて1万トンのリンゴを保管できる冷蔵庫があるそうです。

こうして、レモンをいくら増産しても、需要期である夏場に向けて販売できるということになりましたので、農家の増産意欲に一気に火がつきました。その後県内の他の農協も同様に、長野県の他の農協と冷蔵庫の賃貸借の契約を結びましたので、広島県の柑橘農家は安心してレモンの増産に取り組むことができるようになり、このことは当時JA間の協力ということで、広島県・長野県両県のマスコミにも取り上げられました。

昭和48年、農工大農学部を卒業して、郷里に帰り、農一筋に生きて参りましたが、このたびの叙勲受章にあたり、自身の選択が正しかったのだと、改めて認めていただけました。この間、二人三脚で共に歩いてきてくれた妻に対しても感謝の言葉を捧げたいと思っています。

生かされて予期せぬ叙勲照紅葉

# 退職にあたり

## 農学研究院教授 荻原 勲



本年3月末をもちまして、定年退職いたしました。33年の在職期間中は皆様のご支援に支えられて教育と研究に専念することができましたこと心から御礼申し上げます。

主指導教員として博士17名、修士53名など200名以上の多くの学生と関わり、面白い研究が一緒にできたことがかけがえのない思い出です。また、最後の10年間は大学運営にも携わり、農工大の素晴らしさを身近に感じながら務められたことを大変光栄に思っています。特に歴史ある農学部の講堂の改築は思い出に残る仕事の一つでした。

本年はコロナ禍で退職時に最終講義ができませんでしたが、卒業生が作成してくれたビデオメッセージをいただきました。卒業生の心温まるひとことに万感の思いです。4月以降は住居の近くに畑を借りて、やり残した研究を行い、開発した技術の社会実装化を目指していきます。妻とおにぎりを持って畑に行き、農作業や実験を行い、自宅で頂くビールが至福の時間になっています。最後に、お世話になった東京農工大学の益々のご発展を祈念しています。

## 工学府教授 北原 義典



2014年にそれまで勤務していた(株)日立製作所中央研究所を退職し、本学工学府産業技術専攻に着任致しました。以来7年間ではありましたが、主にマネジメント科

目を担当し学生や社会人教育に携わらせて頂きました。学生には、最高学府にふさわしい教養を身につけることを強調してきました。私自身、分離融合型学部で学びリベラルアーツの重要性を感じてきました。教養とは、単に幅広い知識だけでなく、専門知識、論理的思考と話し方、文章作成力、体系化力、洞察力を含めた総合力だと思っています。ゼミ生であった社会人学生が修了の際に発した「先生のところで2年間過ごして、考えることが好きになりました。」との言葉で、苦勞が報われた思いがしました。

今後は、いくつかの大学の非常勤講師を通じて、引き続き各方面でリーダーとして活躍する人材の育成に力を注ぐ所存です。ここまでのご指導、ご鞭撻にお礼申し上げますとともに、本学のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

## 工学研究院教授 鮫島 俊之



長い間私は結晶シリコン半導体表面欠陥低減法の低温化に取り組んでいた。1100℃の熱酸化法が唯一の方法だったが1100℃は高温すぎる。新しい応用展開を図るため

には低温処理技術が必要だった。しかし、研究を続けること17年・失敗の連続・。遠くに定年がちらつく頃、できすぎ君(仮名)が研究室に参加した。彼は典型的な農工大生だった。明るく、礼儀正しく、我慢強い。よし、彼と一緒にもう一度頑張ってみよう。こうして、できすぎ君は危険すぎる修士研究テーマを与えられることになった。私達は毎日ミーティングをした。私のアイデアは相変わらずヒットせず、芳

しくないデータを見詰る日々が半年続いた。しかし、彼は私がどんなに失敗しても文句を言わず、いつも朗らかだった。私は励まされ、ついに25年前に米国学会で聞いた70℃温水洗浄を思い出した。「できすぎ君、これは試してみる価値があるぞ、装置を作って良い条件があるか探してみよう。」3か月後、100℃、1hの温水処理法は1100℃熱酸化法と同等の欠陥低減を成し遂げた。3月末の退職直前に、5年前に彼が作ってくれた試料を久しぶりに測定した。当時と変わらぬ低欠陥の良い結果に嬉しかった。私1人ではこの新技術を生み出すことはできなかったと思う。できすぎ君や農工大の学生さん達は私に仕事をするための最も重要なことを教えてくれた。皆さんありがとう。皆さんがきっと社会で大活躍されることを信じています。

前副学長、工学研究院教授 宮浦 千里



2004年3月、工学研究院に教授として着任いたしました。私は薬学部出身で、工学部において、どのように貢献できるか模索してきたように思います。着任2年後から

は本部地区の仕事も担当するようになりました。政府予算もいただきながら男女共同参画や国際共同研究などの枠組み構築を担当、女性キャリア支援・開発センター、女性未来育成機構、グローバルイノベーション研究機構、卓越大学院プログラム等の申請・立ち上げと運営を担当させていただき、学長補佐や副学長として活動させていただきましたことは、大変勉強になりました。生命工学科の講義では、基礎生物学、生理学、食品医薬品開発工学など、大学院教育では、博士前期は生命工学専攻、博士後期は早稲田大学との共同大学院(共同先進健康科学専攻)を担当させていただきました。多くの大学院生指導に関わられたことは大きな喜びです。

農工大が、中粒ながらキラリと光る大学として益々発展されることを祈念しております。

工学研究院教授 米澤 宣行



大学紛争終期とオイルショックの学部と大学院9年、助手4年、日本鋼管(株)(NKK、現JFE)で主任部員・主任研究員5年3月、群馬大学材料工学科で助手・助教授

4年9月の四半世紀を経て、1997年4月から小金井で四半世紀過ごしました。この4月からは公益社団法人日本作業環境測定協会です。小金井で深まった中等教育への関与もこれから本番です。学部の「酵素モデル」から「高分子合成」、「有機合成化学」、NKKでの材料開発を挟み、「高分子合成反応」、「有機反応機構」、「有機構造化学」と応用から基礎へと遡って辿ってきた専門の有機化学は今も未熟で学習途上です。一方自身の企業勤務で得た教訓、生活に密着する化学と教育への従事の誇りを糧に、社会と人の心根の激変の渦中、時の流れを見極め、なすべき・なさざるべきを常に考える仁の姿勢は在任中守ってきたつもりです。これからも続けます。まだ続く大変動時代、皆さんには立ち位置を直視し現状に対峙する大学教育担い手の矜持を保って歩んでいただきたい。



## 総合情報メディアセンター教授 萩原 洋一



昭和54年2月に小金井キャンパスに着任した当時は、桑畑と繊維工場跡が残り、当時の事務部は木の床と真鍮ドアノブの旧繊維博物館で、自然豊かなキャンパス

でした。

振り返って思えば、各学科の大御所の先生方に縁があり、当時は若造でしたが、大学のインターネット立ち上げ(BクラスIPアドレス、ドメイン名)や電子メールシステムの導入立ち上げ、キャンパス情報ネットワークの導入に始まり、数えきれないほどの各種情報基盤システムの新規立ち上げ構築と更改に関わらせて頂きました。常に一步先を行くシステムを求めたために関係する方々(学生、教職員、ベンダー)にはご迷惑をおかけしたかと存じます。東京農工大学のプレゼンスを意識してシステムの構築に努めてまいりました。ひとつひとつに良い思い出や失敗談があります。これらは、各学科の先生方や執行部の皆様のご支援ご協力があったのものでした。総合情報処理センターから教

員組織を拡充し高度化した総合情報メディアセンターの概算要求が認められた時が最大の達成感でした。

本学には42年2カ月に渡り、人生の大半を過ごさせて頂きました。在職中は、本当にあらゆる面で人に恵まれました。改めて関係した皆様様に感謝申し上げるとともに本学のすばらしさを発揮され、さらなる飛躍を祈念いたします。ありがとうございました。



## 定年退職者のお知らせ

本学在学中に同窓会活動に多大なご協力をいただいた下記の先生方が、令和4年3月で定年を迎えられます。

伊東 道生	教授	工学研究院	柴田 秀史	教授	農学研究院
岩井 俊昭	教授	工学研究院	東城 清秀	教授	農学研究院
宇野 亨	教授	工学研究院	夏目 雅裕	教授	農学研究院
田中 幸夫	教授	工学研究院	野見山敏雄	教授	農学研究院
長坂 研	教授	工学研究院	楊 宗興	教授	農学研究院
			渡辺 元	教授	農学研究院

(五十音順：氏名掲載はご本人の了解を得ている方のみです)

# 令和2年度同窓会学生援助事業報告

同窓会学生援助事業では、在学生(準会員)の学会発表、コンテスト・コンクールへの出場、優秀卒業論文、種々の課外活動、学園祭に対して「同窓会研究課外活動奨励賞」および副賞を授与しています。

この事業は、会員の皆様から納入いただいた同窓会費(終身会費・年会費)や入学時に納入いただいた入会金・賛助会費を元に支出しております。令和2年度の援助金総額は3,268,460円でした。ここにご報告させていただきますとともに、厚くお礼申し上げます。

今後とも母校援助にご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

事 項	件 数	金 額
学会発表 <参加・出場>	191名	955,000円
学会発表 <入賞>	20名	100,000円
コンテスト・コンクール <出場>	3名・2団体	35,000円
コンテスト・コンクール <入賞>	2団体	10,000円
学会誌・論文誌発表	0件	0円
優秀卒業論文	10学科	100,000円
課外活動 <学園祭>	1件	100,000円
課外活動 <サークル活動>	20件	1,000,000円
課外活動 <リーダーズトレーニング>	1件	50,000円
キャリアアドバイザー支援	2名	120,000円
卒業・修了証書カバー支給	1,670名	798,460円
合 計		3,268,460円

※詳細については、同窓会ホームページ(<https://tuat-dousokai.org/student/>)をご覧ください

## 令和2年度「同窓会研究課外活動奨励賞」受賞者のコメント

### 加藤 光之介さん (獣医R3)



この度、私はKUVIC-AiSVS 2020 Online conferenceにおいて、糖尿病モデルラットと健康な個体との間で、シルクフィブリン基盤血管修復シートに対する血管組織再生の違いを評価した研究内容を発表し、「The 1st place in oral presentation award」をいただきました。本学会参加に際して、同窓会からご支援をいただき心より感謝申し上げます。

また、今回の私の研究内容について高い評価をいただき、このような場で感謝の意を述べる機会をいただいたことを大変光栄に思います。

今回の受賞は、指導教員の田中綾先生をはじめ研究室員や周囲の方々、また同窓会の皆様からのご支援があったこそだと思っております。

今回のご支援と経験を励みにして、今後は獣医師として臨床と研究の両分野ともに精進して参ります。

### 生命工学専攻M2年 小柳 英里さん



この度、同窓会より学生援助事業の奨励賞をいただき、また、農工通信の場をお借りしてコメントする機会をいただき、深く感謝申し上げます。

私は、「第58回日本人工臓器学会大会 萌芽研究ポスターセッション」において、蚕由来の蛋白質を用いた人工血管材料の作製に関するポスター発表を行い、光栄なことに優秀賞を受賞しました。受賞ならびに研究活動に対して同窓会より評価をいただき、大変嬉しく感じております。本賞は、研究室の皆様ならびに同窓会の皆様のご支援により受賞することが出来ました。これまでのご支援に心より感謝申し上げます。今後も、ご支援に恥じぬよう、より一層研究活動に打ち込み、組織工学分野の発展に少しでも貢献できるよう精進して参ります。

**お知らせ** 「同窓会研究課外活動奨励賞」後期募集は令和3年12月17日～令和4年1月21日です(詳細はHPにて)。

**援助対象者** 本学に在籍中の学部学生または大学院学生で下記の1または2に該当する者  
 1. 入学時に保護者が賛助会費を納入した者(保護者が賛助会員)  
 2. 終身会費または年会費を納入した者(本人が正会員)  
 ※会費未納の方は申請前に納入してください  
 会員種別については、住所ラベルに「賛助会員」「正会員」等、記載されております。申請時にはご確認ください。

## 第63回農工祭

11月12日(金)～14日(日)開催予定! 詳しくは、

東京農工大学 農工祭

検索

※web開催等、変更になる可能性もありますので、詳細はHPをご確認ください。

# 部会・支部・同好会・クラス会だより

部会・支部・同好会・クラス会だよりの最新情報は、同窓会ホームページに随時掲載していますので、ぜひご覧ください。

## 部会だより

### 獣医学部会

日時 令和2年6月1日(月)～7月31日(金)  
 開催場所 書面総会(獣医学部会便り92号に案内し審議した)  
 参加人数 175名  
 実施事項 獣医学部会 書面総会  
 議題1:令和元年度獣医学部会事業報告並びに収支決算(案)及び監査について  
 議題2:令和2年度獣医学部会事業計画並びに収支予算(案)について  
 上記の議案についての賛成・反対の回答を書面にて得た。昭和20年卒から令和2年卒までの幅広い層から回答を得た。  
 報告者 佐々木 一昭(獣医H4)

### 物理システム工学部会



日時 平成29年11月11日(土)  
 開催場所 エスブリ3F多目的ホール  
 参加人数 約200名  
 実施事項 応用物理学科創立50周年記念式典  
 [1]「開会ご挨拶」大野副委員長  
 [2]「お祝いお言葉」喜多勲元学長・名誉教授  
 [3]「応用物理学科黎明期」岡田名誉教授  
 [4]「物理システム学科の現状」箕田弘喜教授  
 [5]「工学教育の将来像と応用物理学の位置付け」三沢和彦工学部長・工学部長  
 [6]「応用物理学科での勉学と科学ジャーナリストについて」松尾義之(応物S50)  
 報告者 実行委員長 伊東 浩(応物S52)

#### <幹事のコメント>

2017年11月、200人超の関係者が集い、創立50周年を祝いながら旧交を暖めました。私事多忙によりご報告が大変遅くなりましたことをお詫びする次第です。

2019年4月より工学部で新教育課程がスタートして、新たな挑戦をすることになりましたが、技術革新が激しい時代において、同窓会の部会構成については、前例主義に拘らず、新たな発想で対応して頂きたいと願っています。

文末になりますが、学科創立時には研究棟・実験設備等何もなくありませんでした。その中、学生を励まし、ご指導下さった平嶋秀治元教授の体調が思わしくなく記念式典に参加できなかったことは、実行員・部会役員一同残念に思っております。

## 支部だより

### 北海道支部

日時 令和2年9月1日(火)  
 開催方法 書面議決  
 実施事項 ①令和2年(R2)度事業報告・会計報告、監査報告について  
 ②令和3年(R3)度事業計画(案)・予算(案)について  
 役員改選案及び本部総会代議員候補者(案)について  
 報告者 本間 聡(地生H20)  
 <幹事のコメント>  
 コロナ禍の中、令和2年度の支部総会は、開催を模索しておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため書面議決としました。  
 会員に総会資料を送付し承認いただきました。来年度は総会が開催できることを切に願っております。

### 福島県支部

日時 令和2年10月  
 開催方法 書面開催  
 参加人数 郵送139名+メール50名  
 実施事項 (1)令和元年度支部活動及び収支決算について  
 (2)令和2年度支部活動計画及び予算案について  
 (3)令和2年度支部役員改選について  
 (4)本部総会代議員の推薦について  
 (5)その他  
 報告者 松本 文章(環保H4)

#### <幹事のコメント>

例年7月に開催している福島県支部総会も、令和2年はコロナ禍の影響により集合しての開催を見送りました。このため、書面により各会員へお知らせすることで総会に替えた次第です。

総会後の懇親会につきましても、毎年余興が繰り出されるなど盛り上がり、会員同士の楽しい親睦のひと時で、大先輩から若手までの交流の場でありました。一刻も早く日常が取り戻せることを願って止みません。

### 栃木県支部

日時 令和2年12月1日(火)  
 開催方法 書面総会  
 参加人数 連絡者数239名  
 実施事項 書面総会  
 第1号議案 令和元年度事業報告並びに収支決算について  
 第2号議案 令和2年度収支予算について(案)  
 第3号議案 役員・事務局員の変更について(案)  
 (令和2年度～3年度)  
 支部会報誌発行  
 報告者 篠崎 敦(生産H18)

#### <幹事のコメント>

新型コロナ感染防止のため、やむを得ず懇親会を中止し、書面による総会となりましたが、栃木県支部恒例の会報誌につきましては、その第20号を発行し多くの会員に喜ばれているところです。寄稿頂きました皆様には改めて御礼を申し上げます。

また、このたびの総会にておいて、長きに渡り、栃木県支部会の活性化にご尽力賜りました村松梅太郎氏のご勇退され、後任に南木好樹氏が就任しました。

まだまだ厳しい状況が続きますが、会員の皆様には元気にお過ごし頂き、来年度は総会が開催できることを切に願っております(事務局)

## 埼玉県支部



日 時 令和2年11月20日(金)  
 開催場所 アズーリクラシコ  
 参加人数 7名  
 実施事項 令和2年度総会及び懇親会  
 報告者 竹詰 一(農学H2)

### <幹事のコメント>

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、参集範囲を縮小したため、出席者は7名となりました。  
 総会では、令和元年度事業報告並びに決算報告、令和2年度事業計画並びに予算案について審議され承認されました。  
 総会終了後の懇親会では、さいたま市の若手生産者が中心に活動している「さいたまヨーロッパ野菜研究会」が生産したスティッキオ、ピーツ、スイスチャード、カリフローレや埼玉県のブランド牛「武州和牛」を使った料理を堪能しながら、来年度以降の活動についても話し合いを行いました。

## 東京都支部



日 時 令和2年6月14日(日)  
 開催場所 新宿西口レンタルスペースインスタベース  
 参加人数 6名  
 実施事項 東京都支部総会  
 1.東京都支部役員・係員交替(令和2年6月14日付)  
 <新役員・係員>  
 ・栗原支部長(林学S47)  
 ・稲田副支部長兼連絡係(地生H17 自然院H19)  
 ・蓮尾会計係(林学S47)  
 ・望月監査役(機械院S52)  
 ・大井代議員候補(林学S35)  
 ※前支部長(馬場氏(林学S35))は名誉会長に就任。  
 2.会計報告  
 3.今後の情報発信手段の検討  
 報告者 稲田 真樹子(地生H17)

### <幹事のコメント>

総会では、最初に栗原新支部長より新体制の発表がありました。新体制における各自の役割を確認するとともに、気持ち新たに皆で協力して活動に取り組んでいくという認識を共有しました。次に蓮尾会計係による前年度会計報告があり、その後、今後の情報発信手段について意見を交わしました。農工通信への寄稿、支部HPのコンテンツ見直し、支部員へのメールによる告知等、様々な手段を用いて、東京都支部の活動をこれから発信してまいります。東京都在住の卒業生の皆様、ご参加をお待ちしています。

## 神奈川県支部

日 時 令和2年9月24日(木)  
 開催方法 書面表決  
 参加人数 22名  
 実施事項 1)令和元年度決算及び監査報告について  
 2)令和2年度予算(案)の承認について  
 3)その他  
 報告者 黒澤 晃(農学H2)

### <幹事のコメント>

例年、幹事会並びに通常総会を開催していましたが、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止という観点から、書面表決といたしました。また簡素化のため同時開催といたしました。役員、幹事に総会資料を送付し承認いただきました。  
 通常の活動ができないことは大変残念ではありますが、一日でも早い平穩の訪れと皆さまのご健康を願い、来年度再開できますことを楽しみにしております。

## 京都府支部

日 時 令和3年3月14日(日)  
 開催場所 ホテルセントノーム  
 参加人数 4名  
 実施事項 京都府支部世話人会議  
 ・令和元年度、令和2年度、活動実績の確認  
 ・令和3年度、活動計画、予算案の協議  
 報告者 松井 崇(農工S51)

### <幹事のコメント>

コロナの影響により、令和2年度の総会は中止、令和3年度の活動は、今後コロナの状況をみながら協議していくこととした。

## 岡山県支部



日 時 令和2年8月29日(土)  
 開催場所 ビュアリティまきび  
 参加人数 14名  
 実施事項 総会議事、講演会等  
 報告者 谷 智仁(林学S61)

### <幹事のコメント>

令和2年度岡山県支部総会は、マスク着用など万全の対策のうえ開催しました。  
 初めての工学部系の講演会として、(株)ナノ・キューブ・ジャパンの音山研究員をお迎えし、「マイクロ化学プロセスを用いたナノ粒子化の可能性」と題して、お話をいただきました。1メートルの10億分の1の1ナノメートルに粒子を揃えることで、医療や農業等身近な分野へ応用できる可能性があること学び、大いに将来を期待するところです。  
 次に、総会議事では、支部長が16年間務めていただいた内藤照章氏(獣医S34)から渡邊直人氏(林学S50)にバトンタッチされました。その後、懇親会では参加者相互の近況交換等行い、楽しい一時を過ごすことができました。



## 徳島県支部

日時 令和2年11月28日(土)  
 開催場所 徳島市 味庵TSUBAKI  
 参加人数 4名  
 実施事項 1 開会  
 2 会長あいさつ  
 3 議事  
 (1)収支報告  
 (2)代議員の選出について  
 4 懇親会  
 5 閉会  
 報告者 小杉 純一郎(林学S63)

### <幹事のコメント>

コロナ禍の中での開催については、事務局として頭を悩ましたところですが、徳島県は全国的に見て感染者が少なく、直近の感染者も感染ルートが殆ど判明していることから、感染防止対策を十分図りつつ開催したものです。

コロナ禍が一日も早く終息し、次の総会には多くの会員の皆さんに参加いただけることを願ってやみません。

## 宮崎県支部

日時 令和3年2月22日(月)(書面郵送日)  
 開催方法 書面議決  
 参加人数 43名(書面送付)  
 実施事項 第1号議案 令和元年度事業実績及び会計報告  
 (令和元年度会計監査報告)  
 第2号議案 令和2年度事業計画及び収支予算案  
 第3号議案 役員選出  
 報告者 井之上 英行(農工H4)

### <幹事のコメント>

コロナ禍の中、令和2年度の支部総会は、開催を模索しておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため書面議決としました。会員に総会資料を送付し承認いただきました。来年度は総会が開催できることを切に願っております。

## 鹿児島県支部

日時 令和2年11月20日(金)  
 開催方法 書面総会  
 参加人数 35名(書面送付)  
 実施事項 1.令和元年度事業報告  
 2.令和2年度事業計画  
 3.本部代議員の選任  
 報告者 長谷川 信幸(製糸 S54)

### <幹事のコメント>

令和2年度の総会及び交流会は、コロナ禍の影響で残念ながら未開催とし、その旨会員へ案内するとともに本部代議員の改選に伴う新代議員(支部長枠、一般枠)の選任についても賛否を問う案内を令和2年10月20日付で行った。その結果、11月20日をもって全会員から賛意を得たことから12月4日付けで各会員宛に結果報告した。

## 同好会だより

### 農工大支援ネットワーク(略称:AT-Netz)

令和2年度は、コロナ禍によって活動ができず、これまでの活動を振り返る機会として、「向友会」と活動のまとめ、ディスカッションを行い、今後の活動に備えた。

・会社・工場見学会; 学生の就活支援として、見学と共に見学先企業の農工大卒業生社員との懇談会を開催(この懇談会が好評)。

2013年~2020年/14回、参加者数は、10~25名/回

・学生とOB・OGとの交流会; 学生の社会適用性(就職も含む)支援のために「働くとは!」をテーマにOB・OGによる講演会、懇談会の開催。

2015年~2018年/4回、参加者数は、18~25名/回

【活動に関するディスカッション】・活動で得られた知見・全体的な感想(課題も含む)・今後への対応などを議論し、今後の参考にする。

報告者 深水 智明(織工S38)

### 農工音楽祭



令和2年11月22日(土)に第9回農工音楽祭を農工祭HPを利用しオンライン開催しました。音楽を通じた交流を目的に、教職員・学生・OB・OG他が動画で出演し、一般の方もオンデマンド視聴されました。参加団体は以下の通りです。

1. 学生サークル 「歌研究会」
2. 教職員バンド 「ありんこの家」
3. OBOGグループ 「Nob&Mary」
4. OBバンド 「魂のライブ」
5. 留学生グループ 「Citizens of the Earth」

報告者 佐藤 俊幸(共同獣医学科・准教授)



### 地域再生・地域活性化に東京農工大学の知的資源を活かすネットワーク

新型コロナウイルス感染症の蔓延への対応で、本年度の本会総会及び会員の交流事業等については、中止及び次年度開催に変更した。

(1)総会及び講演会開催について、令和2年4月24日に長塚会員をホストとするZoom会議を開催、次年度の活動方針等を検討することにした。

(2)次年度に延期した活動

#### ①講演会と懇親会

講師:阿部治氏(環境S54)(立教大学社会学部教授、本会会員)

#### ②次世代グループ(S54~S60卒)との交流会

これまでの本会の活動を振り返り、次世代グループとの交流を通して、本会のあり方をあらためて見直す機会にする。

#### ③「風の記録」第二集の編纂委員会を立ち上げ、編纂方針を決める。

報告者 淵野 雄二郎(農学S43)



## 東京農工大学技術士会



WEB総会:令和3年1月24日(日)15:00~17:00+WEB懇親会  
参加人数24名、委任状11名(名簿上総会員数78名、休止会員21名)  
議事

- ①報告事項 会員動向報告、現状78名
- ②活動報告前回の例会(2019秋)よりの活動を紹介。
- ③役員改定提案 新たに熊坂氏役員就任、承認された。
- ④会計報告

- 講演
- ①新家達弥氏「ロボットバランサー協調組み立てシステム」
- ②奥山正樹氏「環境技官としての仕事、岐阜・屋久島・奄美」

WEB懇親会 参加人数17名、司会:熊坂治氏  
参加者の近況を一人60秒で紹介、その後2パーティに分かれ懇親会、15分後にチームはシャッフルされて懇親会を再開。最後に全員で再会を期して散会。

報告者 副会長 吉原 伊知郎(化工S51)

## イノベーション研究会



日時 令和2年11月28日(土)

参加人数 52名

実施事項 第5回イノベーション研究会 ウェブ講演会:森林の未来は、都市の未来~気候変動による災害など都市問題の解決を目指して~

第1部 東京農工大地域生態システム学科の教授・准教授陣によるリレー講演

(戸田浩人氏/白木克繁氏/小池伸介氏/岩岡正博氏/加用千裕氏)

第2部 ゲスト講演 「70年の植林活動と環境文化創造に関わる一貫教育」

講師:鈴木康平氏 自由学園環境文化センター次長

第3部 パネルディスカッション

モデレータ:佐藤留美氏 Green Connection TOKYO代表理事

報告者 蓮尾 純子(林学S47)

<幹事のコメント>

初めてのZOOMによる講演会だったが、講師の先生方をはじめ主催者側も手慣れて、これほど時間にぴったりの進行も珍しいと思うほど。内容も濃いもので連携がとれてわかりやすかった。自由学園の鈴木先生の70年にわたる実践、植林や造林から製材、6年間使用する机作りまで生徒さんが行われるというお話はとてもよかった。日本産の材を国内消費に乗せる糸口が見えるとありがたかったが、社会・経済・行政の問題で踏み込みにくい課題であろう。

## クラス会だより

### ポリメル会・卒業60年母校訪問報告



日時 令和元年6月26日(水)

クラス(卒年) 織工S34

参加人数 7名:

市川次男、田中壯、新元清彦、新田吉博、林武志、土方昭光、森田良夫/教職員 村上尚准教授、岩澤茉莉子技術職員

幹事・報告者 林 武志(織化S34)

<幹事のコメント>

14時に科学博物館(旧本館)ロビーに集合であったが、定刻前に全員集合して各自が館内を見学した。我々は「繊維博物館」の名称が馴染んでいるが、見学してみると繊維以外の分野の展示が多くなっている。60年という時間で世の中が大きく変わったことを実感した。「生糸」「人絹」等の文字が懐かしい。繊維等も展示され、週に一度は職員によって解説と運転が行われている。

岩澤職員の案内で1号館の教室に入る。当然、現代の建築物であるから明るい静かな部屋です。村上尚准教授から農工大学工学部の現状のお話があった。資料として立派な「GUIDE BOOK」と工学部応用化学科案内を頂いた。「繊維化学科」は名称の変更があったが「応用化学科」に落ち着いた事は嬉しい。かつて大野泰雄先生が目指していた事が実現したのです。

その後、村上尚准教授と岩澤職員の同行でキャンパス内を歩いた。我々の知っている建物は、科学博物館のみです。木造の男子寮も跡形もなく、その位置さえ明確にならない。グラウンドは位置が変わらないので野球部やラグビー部で活躍した思い出話が出てきた。東門の位置は変わらないので懐かしい。「ここにあるモニュメントは名所です。」との事で記念写真を撮ってキャンパスを後にした。

### 電気工学科 第5期(S41)入学クラス会



日時 令和元年11月9日(土)

開催場所 東京駅 OAZOビル かこいや

クラス(卒年) 電気工学科S41入学(S45卒他)

参加人数 12名

実施事項 懇親会

幹事・報告者 栗原 利夫、小林 喜一・山崎 広義(電気S45)

<幹事のコメント>

電気工学科 S41 入学者のクラス会は高橋一彦君、右田守彦君が中心となり2012年秋に発足しました。しばらく隔年開催しておりましたが2018年からは毎年開催となりました。ところが2020年はコロナ禍で開催が出来ず残念ながら翌年に延期となりました。米寿までとは言いませんが喜寿の祝杯をクラス仲間と挙げたく、これからもクラス会で楽しく過ごしたいものです。

これまで参加されていない方も昔のクラス仲間と連絡をしてみてください。昔話も未来!も語り合いましょう。



## オンライン・対面併用で講義実施中

4月からの新年度、可能な限り対面講義を実施という方針もあり、久々に活気が戻ってきたキャンパスに静かな感動を覚えました。この記事執筆している2021年5月現在は残念ながら3度目の緊急事態宣言が発令中ではありますが、それでもオンラインも組み合わせながら対面での講義も行っております。実験や実習は人数を少なくして1日に2回転するなど慌ただしい部分もありますが、学生一人一人の印象が残りやすくなったようにも感じているこの頃です。

## ミニホースのシードル君、すくすく成長中！

農学部にはアメリカンミニチュアホース(通称ミニホース)が5頭おり、ミニホースの会のみなさんが日々お世話をしています。それぞれアップルサイダー、シナモン、アップルパイ、カルヴァドス、グランドシードルと、林檎にちなんだ名前が付けられています。グランドシードルは2020年7月15日に生まれたアップルパイの子です。ミニホースの会のブログやSNSではシードル君の成長の様子が日々アップロードされていますので、ぜひご覧になってみてはいかがでしょうか。

## 工学部(小金井キャンパス)懸垂幕の更新

2018年に工学部小金井キャンパス14号館に設置した懸垂幕が更新されました。工学部の研究力をアピールする文言として「地球をまわす工学部」と掲出しています。小金井キャンパスのグラウンドはもちろんのこと、JR中央線(東小金井～武蔵小金井間)の車内からもご覧いただけます。懸垂幕の更新は今回で3回目です。2019年4月の工学部学科改組に合わせ「2019年4月新工学部始まる」にはじまり、2020年2月には研究の進化・深化から着想した「シンカする工学部」を掲出してきました。今回の更新は同窓会からも支援を行いました。今後も東京農工大学の広報、各種PRに活用していく予定です。



# 慶弔

(敬称略)

## 慶事 お祝い申し上げます

### 令和3年春の叙勲

脇田 久伸 (工化S41) 瑞宝中綬章  
伊地知俊一 (獣医S50) 瑞宝中綬章

### 令和2年秋の叙勲

野上寛五郎 (林学S39) 瑞宝中綬章  
横本 正樹 (農学S48) 旭日単光章

### 慶事ニュース

ご当選おめでとうございます  
(市議会議員選挙2021)

田中 裕規 (化工S57) 三原市議会議員(広島県)  
角廣 寛 (環保S57) 三原市議会議員(広島県)

### 受賞おめでとうございます

国枝 栄 (獣医S53) 2020年度朝日スポーツ賞

## 弔事 ご逝去を悼み、衷心よりご冥福をお祈り申し上げます

名誉教授 関根 優年	農化 水上 金三	S25	製糸 山口 芳文	S48
名誉教授 伏谷 賢美	農化 安藤 昌幸	S30	製糸 覚張 勝栄	S50
元農学部教授 倉本 器征	農化 村上 碩	S30	糸専 岩波 勝	S23
元工学部教授 福本 修	農化 門田晋一郎	S34	織維 桑原 昂	S19
農学 内藤 方夫	農化 吉澤 康弘	S37	織維 倉田福太郎	S29
農学 芦澤 正和	農化 須藤 政彦	S43	織工 石川 保男	S35
農学 山内 恒男	農化 小林 昭一	S44	織工 並木 覚	S35
農学 朝比奈五郎	林産 渋谷 達夫	S53	織工 風間 明生(橋口)	S36
農学 須田峻一郎	環保 高野 慶一	S61	織工 三輪 親	S36
農学 熱田 正行	農実 釣巻 稔	S7	織工 石黒 武昭	S37
農学 岡田 保則	林学 宮田 守久	S16	織工 風間 鉄也	S38
拓殖 堀 勝夫	林学 原 興吉	S16	織高 三田 勝巳	S57
拓殖 山崎 眞一	林学 大野 邦雄	S23	織化 遠藤 耕市(山崎)	S22
農甲 富永 衛(山田)	林学 日比野貞美	S25	織化 大高 直輝	S22
農乙 板橋 勅	林学 木崎 秀一	S28	織化 佐野 常道	S31
農乙 滝田 利男	林学 菊地 栄司	S31	織化 前田 寛	S31
生物 高橋富一郎	林学 近江 克幸	S39	織化 井出 正次	S32
生物 永澤 計司	農工 林田 紀義	S29	織化 稲垣 洋二	S32
生物 春山 隆男	獣医 仁藤 和雄	S18	織化 今井 中	S32
農改 吉田 久雄	獣医 柴田 寛	S28	織化 佐藤 勝彦	S35
農改 門井 勝次	獣医 原子 重男	S28	工化 四釜 康夫	S46
養蚕 小清水宗二	獣医 春名 祥造	S28	工化 小池 敏夫	S48
養蚕 藤井 實	獣医 岡崎 洋	S29	機械 兵野 勝	S44
養蚕 中島 茂	獣医 池田 澄雄	S32	電気 大塚 和夫	S41
養蚕 遊佐 信次	獣医 勝山 弘之	S37	電気 坂上 隆男	S42
養実 鈴木 正敏	獣医 水谷 武夫	S38	電子 小野沢俊彦	S51
蚕実 長谷川福太郎	獣医 掘越 大能	S41	化工 高橋 孝一	S49
蚕糸 野口 明史	獣医 日高 秀造	S47	紡織 笹山 栄一	S26
植防 土屋 敏明	獣医 神尾 次彦	S52	応物 廣田 潤	H2
植防 西原 安雄	製糸 柳沼 泰之	S18	物生 中島 之典	H8
農化 小川 明彦	製糸 新井 達男	S25	機シス博 滝口 清昭	H19
農化 高坂 寛	製糸 森 正徳	S30		
農化 主原 達也	製糸 杉山 範三	S31		

※訃報の掲載は令和2年8月以降ご連絡をいただいた方(ご家族から掲載の許可をいただいた方)を掲載しています。

## 新型コロナウイルス感染症に伴う 東京農工大学基金へのご支援について

同窓会事務局長 池谷 紀夫

農工通信99号にて新型コロナウイルス感染症に伴う東京農工大学基金へのご支援をお願いしたところ、多くの方々からのご寄附をいただきました。令和2年10月から令和3年4月末段階での状況を大学からいただきましたのでご報告いたします。令和2年度の収支報告につきましては、大学のホームページに掲載されております。

### 「東京農工大学基金」寄附者一覧

ご寄付を賜りましたみなさまのご芳名を深い感謝とともに掲載させていただきます。

同窓生、在校生・そのご家族、元教員(50音順、敬称略)  
令和3年4月末現在

合田 善一	伊藤あかり	大仰 真	加藤千代美	倉田 寛大	坂本 洋	関口 竣介
青谷 真美	乾 吉治	大澤 和彦	加藤 優空	倉田 洋行	笹木 宣幸	関澤 奈月
秋山 譲樹	井上 浩一	大園 竜也	門脇 碩也	栗原 優太	佐々木優衣	瀬戸 優作
阿久津眞一	井上 隆	太田 悠	金澤 遼	栗山 謙一	笹元 威志	高杉 久
阿久津賢宏	伊庭 義騎	大谷 秀美	金子 慧世	栗山 昌子	佐藤 巖	高田 幸宏
阿久津智子	今泉 文利	大西 誠人	金子 俊男	黒澤 望	佐藤 敬	高野 晃生
阿部 隼也	今泉 正規	大場 知明	亀山 秀雄	黒田 浩行	佐藤 優斗	高橋 國夫
安部 敏男	今岡 靖雄	大平 邦人	香山 壺星	黒部 樹	佐野 翔梧	高橋 豪
阿部 良治	今窪 健詞	大桃 圭喜	川島幸之助	桑田 昌之	佐用 悠輔	高橋 正樹
鮎川 英司	岩下 亨介	岡崎 雅美	川野 和彦	河野須美子	塩浦 徳直	高橋 昌哉
荒井 賢治	岩田 雅史	小笠原 豊	菅家雄太郎	肥田 栄雄	篠塚 俊太	高橋 義武
荒井 敏明	岩間 寿明	岡田 慶二	神田 昇一	古賀 遼太	柴田 成徳	高見 裕司
荒木 俊光	宇佐美広祐	岡田 健二	神田 直之	小海 潔	嶋田 和芳	瀧上 紀吉
有澤 清	内田 金治	岡田 泰明	木内 聖子	国眼 孝雄	庄司 罔美	武江 完次
有吉 桜	内田 裕幸	岡山 隆之	木川 孝二	小熊 光	白井 久	竹原 結以
安齋 知	内田 瑞樹	小川 秀文	菊地 茂	小熊 秀治	新戸 勇希	竜田 剛志
安養寺久男	梅田 倫弘	荻田 悠	北村真一郎	小坂 秀成	菅田 菜月	田中 翠
飯島 健一	上徳 帝耀	尾口 拓海	北村 直之	小島 一則	杉 奈美	田中 良典
飯塚 雄哉	江川 拓斗	奥野 則也	喜多村 譲	小嶋 桂吾	杉田 幸弘	谷川 颯
池上 正彦	越前屋桃子	奥山 秀樹	北村 亮	小平 隆通	杉谷 洋幸	種田 悠杜
池田 圭那	及川 義教	尾澤 陽	吉川 勝之	小平 紀肇	杉山 敦男	田畑 智宏
池本 雅章	王華南	押切 直之	木下 正良	後藤すみよ	杉山 大介	田村 香
石井 忠	大井 孝博	小野 博明	木村 光汰	小林 孝子	杉山 嘉英	千葉 瑞栄
石園 学	大石 敦志	小原 嘉明	木村 萌	小林 雄治	鈴木 忠行	長 誠一郎
石原 宏美	大石 直記	小美野増夫	清澤 信彦	小松 隆次	鈴木 伸子	CHEN JINGHUI
泉 貴大	大内 麻衣	織山 晋	日下部太亮	近藤 昌弘	鈴木 正彦	塚田 賢信
磯 和孝	大内 梨生	賀川 翔世	日下部智久	齋藤 健一	鈴木 泰彦	津川 貴晃
市川 純一	大神 脩夢	葛西 互	工藤飛良生	齋藤 皓	鈴木 能大	佃 亮輔
市川 裕之	大木 重治	梶並純一郎	久保 龍斗	齋藤 陽子	須藤 尚	土井 萌乃
市川 康雄	大久保甲斐	加藤 孝一	蔵 昌宏	坂上 秀和	瀬川 哲	筒井啓太郎

積田 孝一	中山 有俊	早川 翔太	本庄 勝人	宮本 智子	山田 直樹
寺下 宏一	中山 知義	林 雄飛	本田 正	宮本 雄司	山本 壮一
寺田麻衣子	中山 朝葉	原口 大志	本田 泰信	村上 博子	山本 剛
徳永 完平	榎山 絵麗	原口 渉	本間 大資	村田 究	山本 浩樹
戸田 雅之	成澤 誠司	原林 滋子	本間 靖幸	村田実貴生	湯浅 信子
富田 寛倫	難波 鈴香	平井 祐一	前田 陸渡	森 功	由良 隆之
永井 義久	西入 聖	平田 楓馬	牧 圭一郎	森 喜昭	ヨーク弘美
長岡 将平	西田 浩之	平塚 雄大	榎野 雄太	森川 滋	横山 千愛
中川大二郎	西野 太郎	廣瀬 悠人	増田 高広	森田隆太郎	吉澤 貴光
中込 利嘉	西原 明	廣田 菜摘	益田 靖大	宝方 亨伴	吉田 洋憲
中島規久雄	西間 直哉	弘中 赴夫	町田 侑也	矢尾 秀一	吉田 雅治
長島 秀明	西村 和彦	深水 智明	松井 英輔	焼山 正信	吉田 満
永田 絢子	西村 康司	福川 大輔	松原 弘幸	安井 一	依田 博之
中田 勝久	西村 伸二	福澤 徳穂	丸尾 滉樹	安谷 誠	若林康一郎
永田 享治	新田 三夫	福田 航平	丸山 浩	谷田 徹成	若松 鉄也
永田 敬一	二村 辰夫	普後 一	萬宝 国久	谷田部隼輔	和田 義明
永田 耕司	根岸 孝昭	藤枝 洋	三浦 徹	山内 健史	渡辺 敦夫
中田 幸翼	野沢 明美	藤城 哲也	水野 史郎	山上祐一郎	渡辺 和也
長田 仁	野沢 五朗	藤田 安克	三ツ井邦典	山岸 健一	渡邊 勝
永田 裕久	橋詰 幸司	藤原 行雄	光井 弘之	山口 大智	渡邊 亘
中野 智也	橋部 天音	舟橋 実来	満田 信子	山口 秀和	綿貫 智也
中野 雄太	橋本 悠生	船原 優人	三原 雅通	山下 公美	株式会社 光輝
中村 俊貴	廿日岩朔朗	古川 祐司	宮城 安利	山田 光司	東京農工大学同窓会神奈川県支部
中村 義人	服部 夏芽	文 銘	宮谷 司郎	山田 真二	

※ご芳名の公開に承諾を得ている方を掲載しています。

# PARTY PLAN

忘年会・新年会・歓送迎会・同窓会・謝恩会など  
各種パーティーのご用命はサンダリアへ

感染症対策をし、お客様にふさわしい雰囲気でおいしい料理と楽しいお酒をご要望に合わせたスタイルでご調整いたします  
お弁当・TAKE OUT BOXも承っております

〒180-0027 府中市本町 1-1-7  
TEL 042-368-6368  
MAIL info@santgria.jp  
HP santgria.jp

**IN VINO VERITAS**  
SANTGRIA

## アペリティーボ

ひとりで気楽に、友人や家族と  
しませんか？

**Aperitivo?**  
アペリティーボとは？

夕食前や帰宅前にお気に入りのお店で軽食とお酒を楽しむイタリアの習慣です。

ワインをはじめ、様々なお酒に合うオードブルを各種ご用意しております。  
ご帰宅前に気軽に一杯いかがですか？  
お好みのオードブルを、お一人様ずつプレートにご用意いたします。

Close: 22:00 (L.O.21:00) 定休日：火曜日  
Tel: 042-368-6368 Address: 府中市本町1-1-7

**IN VINO VERITAS**  
SANTGRIA

# 事務局だより

## 1. 会費納入のお願い

同窓会はみなさまからの会費で支えられています。  
本会の維持・活動のために会費納入にご協力をお願いいたします。会費は次の通りです。

1. 終身会費 30,000円／70歳以上 10,000円
2. 年会費 1,500円 (年会費は年度4月～3月を1年としています。)

同封の払込票にて、上記いずれかの金額を納入してください。会費を納めていただくと「正会員」になります。

- ◇農工通信に払込票が同封されていない方は納入済です。 ◇過去に遡って納入の必要はありません。
- ※7月中旬時点のデータに基づいておりますため、行き違いで既にご入金いただいておりますらご容赦ください。
- ◇新たに70歳以上の会員が終身会費(10,000円)を納入する場合は、払込票に生年月日をお書き添え下さい。

## 2. 「本学学生への就職支援」就職先情報提供のお願い

就職支援の一環として、就職活動中の在学生に対し、みなさまの勤務先と氏名の情報提供をしております。就職先情報の提供を希望しない場合は、同窓会ホームページ「会員情報」または、同封の「住所・勤務先変更連絡票」にて同窓会事務局までお知らせください。ご連絡がない場合は了承されたものとして、就職情報を在学生に提供させていただきます。なお、過去にお知らせいただいている情報提供の可否に変更がない場合は、改めてご連絡いただく必要はありません。

## 3. 住所等の変更について

農工通信は、ご登録いただいているご自宅住所にお送りしております。転居等で住所等、登録内容の変更があった場合は、同窓会事務局までご連絡願います。**登録内容の更新・変更は、同窓会ホームページからお手続きができます。**なお、同窓会が保有している会員の個人情報の公開については、ご本人の意向に沿って管理・運営し、個人情報保護には万全を期しております。



## 4. 会員情報提供について

平成22年5月『同窓会会員名簿』発行の廃止に伴い、個人情報の提供につきましては、部会・支部・クラス会からの依頼により、従来の会員名簿に替わるサービスを行っております。詳しくは同窓会ホームページ「入会・会員情報」の「会員情報提供について」をご覧ください。



## 5. 「農工通信」は来年度より年1回8月発行になります。

「農工通信」は平成24年度から年2回の発行を続けてまいりましたが、近年単年度ベースでは赤字財政になっていることをうけ、令和4年度から年1回8月発行といたします。「農工通信」とは別に、ホームページを利用したWEBによる情報発信をしていきます。

## 6. 103号への寄稿をお待ちしています！

大学時代の思い出、農工大学への激励、社会人としての経験、趣味、同窓生交流の呼びかけなど寄稿しませんか？また「農工通信」は現役学生にとって社会人との交流の場、手段にもなります。同窓会では、現役学生への支援にも力を入れています。学生に向けての寄稿も大歓迎です。

- ・文字数：1200字程度(写真1枚)
- ・メ 切：令和4年2月末日
- ・送付先：「農工通信」編集委員会 email:nokotusn@tuat-dousokai.jpn.org  
郵送：同窓会事務局

※ クラス会の報告は同窓会ホームページ「クラス会便り」に掲載後103号(8月発行)に掲載になります。

### 同窓会寄附者ご芳名(令和2年10月~令和3年5月末現在) 敬称略

ありがとうございました。

野上 寛五郎(林学S39) 山本 方文(養蚕S40) 笹尾 剛(農学S42) 平野 晃章(環保H3)  
故 大高 直輝(織化S22)ご家族

## 編集後記

こうほう支援室 亀山秀雄(化工S48)

令和3年度前期号101号の冒頭には、新旧交代の会長及び理事長の挨拶を掲載しました。両前会長と前理事長におかれましては、コロナウイルス禍の混乱した状況中で、経済困窮学生支援のための大学への寄附、WEB会議での柔軟な運営などで同窓会の本来の使命を果たされたことを感謝申し上げます。

2012年より年2回の冊子体を発行してきましたが、財務事情の逼迫と、時代に合った情報発信方法の導入の観点から、来年度からは「農工通信」は8月発行の年1回にして、後期号相当分はWEB配信として内容も一新したいと考えています。

この新たな取り組みの中で、同窓生が各地域や職場で活躍している明るい話題を学内外に発信するなど、同窓会と農工大との連携企画として同窓会や農工大のホームページ等に掲載していきます。支部の皆様には、アンケートでの情報提供を頂きありがとうございました。

池谷事務局長、広報・情報部長の亀山も今年度で退任し、同窓会に新設された「こうほう支援室」で「広報支援」と「後方支援」に専念する事になります。また、元理事長の滝山先生が大学の広報委員をされており同窓会との橋渡しができる体制になっています。本学出身の千葉一裕学長をはじめとする大学執行部の方々に、大学と同窓会が「こうほう活動」を通して連携していくことに賛同をいただいております、同窓会と大学とで連携に適した環境が整っています。

## 農工通信 第101号

発行日 令和3年(2021年)8月1日  
発行所 一般社団法人 東京農工大学同窓会  
連絡先 〒183-8538 東京都府中市晴見町3-8-1 (一社)東京農工大学同窓会事務局  
TEL 042(364)3328 FAX 042(335)3500  
e-mail info@tuat-dousokai.jpn.org URL https://tuat-dousokai.org/  
振替口座 00120-8-265877番 加入者名 一般社団法人 東京農工大学同窓会  
印刷所 株式会社 マイナビサポート  
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-23-1 アセンド神保町7F



本学では、農学部附属広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター(FSセンター)で栽培した原料(米・芋・麦)をもとに製造した農工大ブランドの本格焼酎「賞典禄(しょうてんろく)」を販売しています。



お中元、お歳暮、贈り物に最適  
部会、支部会、同窓会でも  
ぜひ賞味下さい。

酒類販売管理者標識	
販売場の名称及び所在地	東京農工大学農学部フィールドサイエンスセンター 東京都府中市幸町3-5-8
酒類販売管理者の氏名	本 林 隆
酒類販売管理研修受講年月日	令和2年9月29日
次回研修の受講期限	令和5年9月28日
研修実施団体名	一般社団法人 日本ボランティアチェーン協会



米焼酎

芋焼酎

麦焼酎

長期貯蔵酒(米)

## 賞典禄 FAX 注文票

以下のとおり注文します。

東京農工大学 FS センター 宛 FAX : 042-367-5801

【ご注文内容】		年	月	日
長期貯蔵酒 米焼酎 (1,800 円) 40度 720ml	本	米焼酎 (1,500 円) 25度 720ml	本	
焼酎 米・芋・麦3種セット (4,200 円) 25度 720ml×3	セット	芋焼酎 (1,500 円) 25度 720ml	本	
		麦焼酎 (1,500 円) 25度 720ml	本	
合計注文金額			円	

【ご注文者様情報】				
お名前			フリガナ	
住所	〒			
電話番号			FAX 番号	
生年月日	T.S.H	年	月	日

※年齢確認をさせていただく場合がございますのでご了承願います。

- 【ご注意】
- ※ 1 お支払いは代金引換またはクレジットカードになります。詳しくは下記 URL をご覧下さい。  
ただし、FAX でご注文された場合のお支払いは、代金引換のみとなりますので、ご注文者様以外への配送は致しかねます。
  - ※ 2 ご注文いただいた上記金額の他に、送料 (5,000 円以上は無料) 及び代金引換手数料 (代金引換額に応じた所定の金額) が必要になりますので、予めご了承願います。
  - ※ 3 本注文票により収集された個人情報、賞典禄の販売以外の目的には使用いたしません。

ネットショップ : FS センター農工夢市場ネットショップ

<http://www2.enekoshop.jp/shop/noukoudai/>



問い合わせ先

農学部附属広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター事務室

TEL042-367-5811